

縮尺 20 万 分 の 1

土地分類図付属資料

(福 井 県)

昭 和 49 年 3 月

経 済 企 画 庁 総 合 開 発 局

縮尺20万分の1土地分類図付属資料

目 次

利用者のために

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要	1
2. 表層地質の分布とその性状および生産力可能性等の概要	6
3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	9
4. 土地利用可能性分級等の概要	14
4-1 土地利用現況の概要	14
4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要	17

B 統計の部

1. 土地利用現況	
1-1 土地利用現況別市町村別内訳	20
1-2 D・I・Dおよびむね10万人以上の都市の土地	22
2. 自然的土地条件	
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	24
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	26
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	28
2-4 地層地質分布面積市町村別内訳	32
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	40
3. 土地利用可能性分級	
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	44
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	46
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	46
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	47
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	47
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	48
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	50

利用者のために

I 編集方針

この付属資料は、縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と、面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成したものである。

たとえば、2-2表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は、「傾斜区分図」(オーバー・レイ)を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-3-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-1表「土地利用現況別市町村別内訳」および1-2表「D.I.D.おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」については福井県における各種統計資料等を調整して作成したものである。

なお縮尺20万分の1の土地分類図の各図幅と、附属資料統計表との関連を示すと次のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類図等の一覧

土地分類図等の 名称		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
統計地の 名称		地形 分類 図	起伏 量・谷 密度 図	傾 斜 区 分 図	表 層 地 質 分 布 図 (平面的 分類図)	表 層 地 質 分 布 図 (垂直的 分類図)	土 壤 図	土 壤 生 産 力 分 区 図	土 地 利 用 可 能 性 分 級 図 (土地利用 現況図)	土 地 利 用 可 能 性 図	標 高 区 分 図	都 道 府 県 統 計 資 料 等
1-1	土地利用現況別市町村別内訳											○
1-2	D.I.D.おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳											○
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳			○							○	
2-2	標高別面積市町村別内訳											
2-3	地形区分別面積市町村別内訳	○										
2-4	表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5	土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1	土地利用可能性分級別面積市町村別内訳									○		

統計地の 名称		土地分類図等の 名称										
		1 地形 分類 図	2 起伏量・谷 密度 図	3 傾 斜 区 分 図	4 表 層 地 質 図 (平面的分布図)	5 表 層 地 質 図 (垂直的区分図)	6 土 壤 図	7 土 壤 生 産 力 可 能 性 図	8 土 地 利 用 可 能 性 現 況 分 級 図 (土地利用可能性分級図)	9 土 地 利 用 可 能 性 図	10 標 高 区 分 図	11 都 道 府 県 統 計 資 料 等
3-2	土地利用可能性分級と自然条件との関連								○	○		
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4	土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連							○		○		
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳										○	○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積値は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1の土地分類図の場合には最小図示単位として1 km^2 (図上では5mm四方)を原則とし、特殊な場合においても最小径400m(図上で2mm)を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やや少ない目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対値を使用するのではなく、概括的把握ないし、項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事実のないもの

「 」(空白)は編集時において資料がなく不明なもの

調 査 機 関 一 覧

分 担	担 当 者 名	所 属	所 在 地
(1) 地 形 分 類 図	吉 川 文 次	福井女子短期大学(学長)	福井市東明里町20
(2) 表 層 地 質 図	塚 野 善 藏 三 浦 静	福井大学教育学部(教授) "	福井市文京3丁目9の1 "
(3) 土 壤 図	井 上 六 治 上 田 一 雄 上 野 直 之	福井県農業試験場 (環境部長) " (技 師) 福井県林業試験場(技師)	福井市寮町辺操52の21 " 福井市脇三ヶ町 66号2の10
(4) 土地 利用 現況 図	"	"	"
(5) 土地 利用 可能性 分 級 図	"	"	"
(6) 総 括	大 庭 謙 讓 武 長 修	福井県企画部企画調整課 (総務係長) " (主 事)	福井市大手3丁目17の1 "

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要

福井県は中部地方の日本海岸に臨み、日本全体の構成からみると、西南日本内帯系に属する山系が飛騨山脈から西にまがって本県の南側を岐阜県境から滋賀県境を通過して中国山地へむかう一連の山地を骨幹として成立している。この山地は古生代の砂岩、頁岩、チャート等を主体に、中生代の礫岩、砂岩、頁岩等を交える古い地質構造をもつが、地形的には山頂面にかなりの平坦面をもっており、その高度がかなり揃っている点で相当の削磨を経た後、面生した高原性山地とみることができる。ただし敦賀東方の栃の木峠を南北に通過する顕著な断層を境に、東部の越美山地と西部の湖北、岩丹山地とでは定高性の差実に500mに及んでいるのは注目される。この背梁山地の内側には漸次新しい時代の山地が付着し、九頭竜川以北の加越山地には白山火山系の火山岩が広く蔽うも、山地そのものは中生代ジュラ、白亜系の礫岩、砂岩や頁岩かむなる山地で処々にそれをのぞかせている。さらに海岸に近づくに従って第三紀層に移り高度も落ちる。

山 地

山地は大別して火山性と非火山性の山地とに区分する。火山地方は特に第四紀に活動したと考えられるものに限定した。山地を大きく区分して嶺北山地(1A)と嶺南山地(1B)とに分けたが

それは前述の栃の木峠通過の断層線を境に、東西の空高性の差が約500mに及ぶことと、この断層とならぶ木の芽山地が、本県の地理環境を二分していろいろの面に影響を与えているためである。

A1-1 加越山地

九頭竜川以北の石川県南部に続く山地で、このうち中央国境に聳立する大日山方面より東は、広く白山火山系諸火山の蔽うところであるが、その下部には中生代ジュラ紀、白亜紀の岩石にシダの化石をもった山地が存在している。起伏量は一般に大きい。大日山付近から西は第三紀層山地と変わり、高度も落ち、やがては丘陵は変化していく。

A1-2 白山火山地

前述の如く加越山地東部区の上を被覆しており、起伏量は県内最大の地域である。石川県境に聳立する取立山、烏岳、大長山、赤兎山等の山頂を連ぬる尾根は眺望勝れ、その南側の法恩寺山、経ヶ岳はおそらくカルデラ性火山の外輪山と思しく、西南の火口壁を破って流出せる溶岩、泥石流は六呂師、平泉寺方面の美しい火山緩斜台地をつくっている。その東方の別山より西南に直線状に走る谷は打波川で、構造性の谷と思われ、先般、北美濃地震の電源地となった。

A1-3 丹生山地

日本海岸にある山地で、南の境界は吉野瀬川構造各で南条山地と分つ。一部中生代の流紋岩、花崗岩露出があるが多くは第三紀凝灰質砂岩、頁岩、礫岩、安山岩等で構成している。北部と西部の海岸よりは高度も数百米に達し山地の相を呈するも、東南部は西安居断層、織田断層をもって急に高度をおとし

100~200mとなり大きい定高性の差異をみせ、本体と離れて丘陵となっている。

A 1-4 丹生 火山地

丹生山地北部に国見岳を中心に第四紀火山の噴出が基布しているが、高度も最高656m、面積も狭小である。

A 1-5 越前中央山地

その地形特色は加越山地西部に似るも、四方を明らかに低地もしくは構造線で区切るので一地形区とする。すなわち、南は武生市より笹生川に通ずる構造線、北は九頭竜の各、東と西はそれぞれ大野盆地、新井平野・武生盆地で囲りの地形区と区分される。高度数百米で中起伏と小起伏の部分のみよりなり、中を足利川が、始め南北に後東西に流路をかへつつ浸食谷をつくっている。

A 1-6 南条山地

丹生山地の南部に続き、東は越美山地と連なるも、前者とは地質構造を異にし、聳者とは定高性を異にして一区をなす。主に古生代・石炭紀の砂岩、粘板岩で中にチャートを含む地質は、越美山地の連続とみられ、第三紀の丹生山地とは全く異っている。高度は500~700mで中山性の起伏量で占められるが、東南の越美山地の大起伏量山地とは、全草断層をもって境している。山中に多数の断層を内蔵し、日野川が侵食谷をなして小盆各をつくっている。

A 1-7 越美山地

東は岐阜県長良川、庄川の各、西は栃の木断層、金草断層、北は荒鷲断層によって区画され、定高性約1,200mに及ぶ山地、本県においてもっとも生成のたい山地である。山頂には多少平坦面も残り削磨の進行した形跡を物語っているが、現在の高度、谷の状態からみて二次輪廻性の山地と思われる。また別に平家平方面には崩壊性地上による緩斜面も存在する。起伏量は大きく白山火山地中央とともに本県の二本本起量山地帯である。

A II 嶺南山地

栃の木断層以西の山地の総称、定高性700m程度の高原性山地で、内部には断層が多く多数のブロック山地に分かれるが、大別して4つ山地に分ける。

A II-1 湖北山地

地質的には古生層、花崗岩で占められており、地形的には南北方向の多数の顕著な断層各を並列せしめ多数のブロック山地に分けている。近畿・中部より北陸にいたる交通路は古今を問わず、この谷を利用してきている。

A II - 2 三遠山地

東は三方断層により、南は熊川断層により湖北山地と若丹山地とから切り離されている小起伏量の山地。一段と低い高度と沈降性の骸島地形がこの山地の特色である。三方湖もこの沈降山地の山陵の間に貯水したものである。

A II - 3 岩丹山地

熊川断層以南西の山地で京都府北部に連なる高原性の山地である。大部分中起伏の山地で、地質は左生層が多く中に東西方向のおびただしいチャートを挟んでいる。西部は中生代の輝緑岩ないし蛇紋岩で、本県には珍らしい地質地域である。さらに西部内浦湾方面には第三紀層の露出がある。

A II - 4 青葉火山地

内浦半島の南にユニード形の青葉火山が美しく聳立、裾野を流している。岩狭富士の愛称をもち景勝地として知られるが、園緑の地は地上りの起る災害のおそれある土地でもある。

丘 陵

B I - 1

加越山地西端に石川県南部に跨って存在する第三紀の砂岩、頁岩の小起伏の丘陵で、加越山地の延長である。

B I - 2 加越台地

前記加越丘陵の西に約5料、海岸まで続く隆起性の台地、厚い砂層をなし、高度約30～40m中に東北—南西方向の巾の狭い峡谷性の谷が3～4本平行して走り、台地の上昇性を物語っている。北瀧湖もこの谷に水を湛えたものである。台地の東部、鉄道よりに古い砂丘が残ってやや高く、北瀧湖以西の海岸部には新しい砂丘が被覆して一段高くなっている。海岸は峻岸をなし海の浸食を物語っている。西部の陣ヶ岡台地は高さ80m、下に第三紀の水平面をもち、その上にうすく砂を覆っている。そして海岸を始め周囲を輝石安山岩が囲むようにして露出し、海水に浸食されて東寿坊の奇勝をつくっている。

B II - 1 松岡丘陵

越前中央山地の西端に、新層による前山と思われる小丘陵の列がある。地質は母体と同じ第三紀変朽安山岩である。

B II - 2 福武丘陵

福井平野の南部から武生盆地にかけて島状の小起伏丘陵が散在する。沈降による平野の中の山頂部のみが残ったもので、あたかも海中の島の基布する状態に似ている。高度小さく小起伏丘陵で、山と囲りの平地との間には麓層面は全く形勢されていない。

B II - 3 丹生丘陵

丹生山地の東半部で、南北、東西の断層で本体と切り離され多数のブロック状丘陵となって配置し、各ブロック間は河岸段丘によって埋められ中を天王川の本支流が直角の曲り方を繰返えず特異の流系を示している。

平野盆地

C 1 越前平野

丹生山地と加越山地、越前中央山地との中間に広がる平地の絵称。周囲は断層とそれにもなる沈降を物語る山麓線でこの平野の成図をうかがわせている。

C 1 - 1 三里浜砂丘

丹生山地北端から東北に、陣が岡台地近くまで延びている。海岸から数えて三ないし四重の砂の列が縫合して巾2~3km高度30mに及んでいる。松林とらっきょう畑などで大部分は被覆されているが、海岸近くのみは植生不良の荒撫地もしくは裸地がめだつ。しかし、近く臨海工業地帯となって大部分は人工改変地になる筈。

C 1 - 2 福井平野

福井市の南、文珠山、麻生津、清水丘陵の狭まり以北をその範囲とするも、武生盆地との境界は明確でない。福井市以北には島状山地はほとんどなく、深い沖積層が広く平野に堆積している。九頭竜川は西の大安寺断層崖下の最低部に直進して山麓すれすれを北に曲って三国で日本海にそそぐが、かつてはその分流は平野の入口、松岡付近から西北に斜に進んだ模様で九頭竜扇状地に続いて広い扇状地性氾濫原が平野の東側一帯に拡っている。平野の北部には竹田川が東から西に流れているがその沿岸には自然堤防がもっともよく発達している。

C 1 - 3 志比低地

勝山盆地と福井平野との間1.2kmを廊下状に巾広い谷があって九頭竜川が流れている。その上手も下手も河各の巾は変わらず侵食谷の形態よりむしろ外見的には地溝に見える断層の確認はない。谷巾約1.5km、九頭竜川はこの間を中流性の荒れ川型式で流れ、両岸に高度の小さい段丘をのせている。

C 1 - 4 武生盆地

初井平野の南にあり、中に島状の丘陵を多数残している。日野川は南条低地を出てここに注ぎこむが、つくる扇状地はきわめて緩やかで形態も不明確である。日野川より西部は吉野瀬川、大虫川など丹生山地から流れ出でて小扇状地をつくるため、川東に比して一般に高く、日野川自身もかつては現流路より更に東を流れたと考えられる形跡がある。盆地の中央に鯖江台地が舌状に南北に続き麻生津丘陵、長泉寺山、玉山等を連結している。台地を形勢するのは礫層と一部粘土層で段丘性台地であり、丹生山地中の段丘と対比できる。盆地の西を限る山麓にはこうした段丘の発達がなく東西対照的である。

C I - 5 南条 低地

南条山地を縦断して流れる日野川浸食谷の低地で、川は中流性の流路である。

C II - 1 勝山 盆地

大野盆地とは東西両側山地の相寄る狭隘部で境する。東側は法恩寺山、経ヶ岳からの泥流が流れ出て独特の緩斜面、ないし高原をなし、ここから流れ出る河川の扇状地によって九頭竜川は西に押されて山麓をすれすれに北へ流れている。

C II - 2 大野 盆地

断層による陥浸性の盆地であるが、南側の宝慶寺断層以外は明確でない。特に東側は経ヶ丘火山の噴出に伴う溶岩、泥流等の被覆による坂谷の斜面台地をつくり、基盤を不明にしている。盆地内は九頭竜川、真名川、清川をつくる扇状地で大年を埋め尽され、僅かに西の山麓近くの赤根川流域のみ低湿地帯をなす。東南部九頭竜扇状地の上には坂谷台地に続く火山性の噴出物が塚状に堆積する独特の台地（塚原野）があり、その表面形はあたかも月面の小丘の如くであったが、近年開拓されて平坦になった。

C III - 1 敦賀 平野

南に頂点をもつ三角形の二辺の断層で、南の湖北山地からきりおとされている平野、南から黒河川、筈川、井の口川が、また東北からは木の芽川が流入してそれぞれ扇状地をつくり、平野の過半を埋めている。海岸の砂州はすでに東半分は策港されてその形態をなくしているが、西には気北松原という景勝地を残している。南の山麓には一段高く傾斜の強い扇状地がのっており、この面と対比し得る段丘面が断片的ながら筈川上流にある。

C III - 2 美方 低地

東半は耳川をつくる扇状地性平野が大部分で敦賀平野の単一化した小型形態である。西半は三方断層崖下の小扇状地群と、三遠山地との間の沖積低地（はす川流域）とからなっており、北に三方五潮を展開す。

C III - 3 小浜 平野

熊川断層により若丹山地からおとされた低地部で、北川がこの崖下を西に流れている。また南の岩丹山地中を流れ来た南川もこの北川の下流部で相接近し、両川協同してデルタ平地をつくりつつ小浜湾に注いでいる。

C III - 4 高浜 低地

岩丹山地から流れでる二三の河川がつくる小規模の平野で、その構成は嶺南低地共通の性格をもっている。

（福井女子短期大学 吉川 文次）

2 表層地質の分布とその性状等の概要

1. 一般地質

福井県の地質については、すでに多くの調査・研究がなされており、これらの結果をもとに、福井県地質図（15万分の1，昭和44年）が公刊されている。

県内には、未固結堆積物、固結堆積物、火山性岩石、深成岩、変成岩といった、多種の地層・岩石が分布しており、またそれらの地質時代は古生代から沖積世までにわたっている。

そこで、表層地質の分布を概観すると、越前地方において、和泉村油坂・伊勢峠、大野市菓原、池田町稲荷、武生市村岡山、越前町高佐を結ぶ、ほぼ東西の線を境として、その北側と南側の両地域とは、はっきり異なっている。すなわち、南側の地域には、若狭地方をもふくめて、主として二宣紀にぞくする非変成の古生層が広く分布している。これに対して、北側の地域には、飛驒片麻岩類を基盤として、中生層（手取層群）・新第三系（中新統）が広く分布している。大野・勝山盆地の西縁部を、ほぼ南北に通る線の、東側の地域には、主として中生層が発達し、これが直接飛驒片麻岩類、古期花崗岩類をおおっている。一方西側の地域には、新第三系が日本海岸まで分布している。なお、この中生層をおおって、“第四紀”の火山性岩石が越前の北東部にみられる。

越前東部で、油坂—高佐線の北側には、九頭竜川構造帯があり、ここでは古生層（デボン紀、石炭紀、二宣紀）・中生層が複雑な地質構造を示し、各地層・岩石が、ほぼ東西性の帯状構造を示している。このような地質構造は、飛驒片麻岩類が分布する外縁部に共通的にみとめられる。このような位置には、結晶片岩類、斑粉岩質岩石、蛇紋岩質石も、しばしば伴っていることが多い。

他方、若狭地方の西端部には、東北東—西南西の方向をもった、舞鶴構造帯の延長部がみとめられる。この構造帯には、右生層・中生層（三宣系；難波江層群）と、これらに貫入した夜久野入岩類（斑粉岩～内緑岩、輝緑岩、蛇紋岩～橄欖岩）とが分布する。それらをおおって、北側に新第三系（中新統）が狭く分布している。

県内には新旧2時期に貫入した花崗岩類が各所に、やや広い分布をしている。旧期に属する花崗岩類（古期花崗岩）は、飛驒片麻岩類と密接な関連を示し、大野盆地の周辺、武生盆地の周辺などに露出している。また新期に属する花崗岩類（新期花崗岩）は、敦賀市・美浜町の周辺、丹生山地南部などに広く分布しており、その岩体は南北性に近い方向を示している。

新第三系は、北陸積成区の西南部に位置して分布する。一般には、中新統・鮮新統の海成層からなるが、本県の場合は、その周縁部に当っており、中新世末には陸化し、鮮新統は一部の陸成層を除いて、ほとんどその分布は知られていない。中新統の下部には、緑色凝灰岩（グリーンタフ）とよばれる、多少共変質した火山性岩石が、とくに厚く発達している。この岩石は；丹生山地中部から越前中央山地一帯にかけて、その分布が広大である。

第四系（未固結堆積物）のうち、洪積層は加越台地、砂子坂台地、鯖江台地に広く分布しているが、福井平野の地下にも厚く存在している。また、九頭竜川の中流には低位段丘礫層がよく発達し、“高位段丘”堆積物は丹生山地の南部に、やや広い分布を示している。

臨海平野では、厚い沖積層がみとめられるが、福井平野の場合、三里浜付近で、その厚さは最大約

60mに達する。“三角洲”・扇状地からなっているが、敦賀平野を除き、扇状地性堆積物の発達は相対的に不良といえよう。

2. 応用地質

a) 鉱床下の鉱床として、いままで知られているものとしては、金、銅・鉛・亜鉛、マンガン、珪石、石灰岩、陶石などがある。

銅・鉛・亜鉛鉱床は越前本部の古生層中に集まり、ほぼ東西方向に分布する。本県随一の鉱床地帯で、中竜鉱山の各鉱床は交代鉱床である。この外、坂東島、竹田、牧谷、文室などの鉱床があるが現在稼行されていない。

マンガン鉱床は、若狭地方の各地に知られている。この鉱床は古生層中の珪岩質岩石（チャート）に胚胎するが、いずれも規模の小さいものである。

珪石鉱床として、南条山地と若狭本部にその分布があり、白珪石は南条山地で稼行されている。美浜町の赤石珪石の良質部は炉材用に使用されている。

石灰岩鉱床は古生層中のレンズ状石灰岩、一部は飛騨片麻岩中のものがある。敦賀市金ヶ崎のもの以外は、いずれも規模が小さい。

陶石鉱床は丹生山地の南部にあり、白亜紀の流紋岩質岩石（溶結凝灰石を主とする）中にあるが、一般に良質部は期待できない。

亜炭鉱床は丹生山地北部の各地に知られ、中新統中部にあり、かつて、その埋蔵量約70万と推定された。

b) 石材

県内では、丹生山地の北部に採石場が多く分布している。とくに、福井市の筥谷石（越前石）はその開発の歴史が古い。その他、別畑石、上野石などがあり、これらはいずれも凝灰岩質岩石である。別畑石は福井市別畑にあり、安山岩質凝灰岩が主として土台、石垣用として稼行されている。骨材用として敦賀市粟野、丸岡町竹田川中流などがあるも、その利用は将来の問題である。

c) 温泉・鉱泉

福井平野の北部にある芦原温泉は含塩化土類食塩泉（60℃）で、県下で算も規模の大きいものである。比較的最近開発されたものに吉崎（塩化土類含有強食塩泉、30℃）、大安寺（含石膏芒硝泉、38℃）、玉川（含石膏芒硝泉、30.2℃）の各温泉がある。鉱泉としては、天谷（含石膏芒硝泉）、鳩ヶ湯などがあるに過ぎず、福井県はかならずしも温泉に恵まれているとはいえない。

d) 地下水

福井平野の九頭竜川、竹田川、足羽川の各扇状地は、いずれもその発達が悪い。一般にその扇状部では豊富な自由面地下水をえられるが、その範囲は狭い。平野下に広く存在する第1礫層にふくまれる浅層地下水は、一般に鉄分などを含んでいるが、扇状地に近い地区では水質も良いので利用されている。平野部では深層被圧面地下水が広く利用されている。しかし、鯖江、武生盆地では、一般に被圧面地下水の少ない地域となっており、より有効な水利用を考える必要がある。この外、大野盆地、小浜平野、敦賀平野以外の平野部では水質源の確保はより困難といえよう。

e) 地すべり、山くずれ

県下で、地すべり等防止法による指定区域は、29ヶ所(昭和39年)、その面積は約441haで、北陸地方では最も個所数、面積も少ない。それらの中で、池田町美濃俣地すべりは、その面積266.44haで、とくに規模の大きい地すべりとして注目された。

地すべりの分布をみると、越前地方では(1)丹生山地、(2)越前中央山地南部、(3)白山火山地周辺、(4)南条山地の海岸地区に、また、若狭地方では、(5)西端部の青葉山周辺、(6)小浜市南方の山地に多少集っている。とくに(5)には多く発生している。(1)(2)(3)(5)は新第三系、(4)(6)は古生層中に発生し、また(1)(2)は中新統の火山性岩石、(3)(5)第三紀末の火山性岩石が分布し、その岩質と関係が深い。山くずれとしては、大野市打波川上流みの又谷崩壊地をあげることができる。集中豪雨で、土石流などの被害が集中した地域としては三方町の花崗岩地帯、大野市西谷南方の中・古生層地帯、小浜市南方の南川流域の古生層地帯などがある。

(三浦 静)

3 土壌統群の分布をその性状および生産力可能性等の概要

福井県における山地、丘陵、台地、低地の土壌は、大土壌群11、土壌統群22に分類されその内訳は別表の通りである。

土 壌 統 群 一 覧 表

大土壌群	土 壌 統 群	大土壌群	土 壌 統 群
岩 屑 土	岩屑性土壌		暗赤色土壌
未 熟 土	砂丘未熟土壌		黄色土壌
	崩積性未熟土壌	褐色低地土	粗粒褐色低地土壌
黒ボク土	黒ボク土壌	灰色低地土	細粒灰色低地土壌
	多湿黒ボク土壌		灰色低地土壌
褐色森林土	乾性褐色森林土壌		粗粒灰色低地土壌
	乾生褐色森林土壌(赤褐系)	グライ土	細粒グライ土壌
	褐色森林土壌		グライ土壌
ポドゾル	乾性ポドゾル土壌		粗粒グライ土壌
	湿性ポドゾル土壌	黒泥土	黒泥土壌
黄赤色土	赤色土壌	低位泥炭土	低位泥炭土壌

土壌統群の分布およびそれと地形、地質、生産力との関連について概説すれば、つぎの通りである。

3.1 山地の土壌

本県の山地は大きく嶺北山地と嶺南山地に分類される。嶺北山地は加越山地、白山火山地、丹生山地、越前中央山地、南条山地、越美山地に分けられる。嶺南山地は湖北山地、三遠山地、若丹山地、青葉火山地に分けられる。

これらの山地は、それぞれ地質構造や侵蝕を受けた時間、程度が違うのでその様相もまちまちである。さらに土壌の分布要因は気候、地形、火山等の環境による土壌化作用に支配されるので、地域ごとに特徴のある分布傾向がみられる。以下その傾向について述べる。

加越山地は九頭竜川以北の石川県南部に続く山地で、その東部に続く白山火山地とは標高において低く大日山方面より両方に次第に高度をさげ丘陵に変化しており谷密度、起伏量ともに白山火山地よりも小さいが傾斜は比較的急である。気候は西方に向って高度を減じるに従って積雪、雨量が少なくなる。土壌の母材は新第三紀の安山岩を主として大日山付近の1000m前後の鋭角な山頂部や尾根の一部には生産力の劣っている乾性ポドゾル土壌がみられる。その他の尾根や斜面上部には乾性褐色森林土壌が出現し、斜面中腹以下および谷筋には褐色森林土壌が分布してある。この褐色森林土壌は生産力も高くス

ギ等の造林地の多くはこの部分に見られる。またこの山地は火山の被覆を免ぬがれており碎屑岩類が露出している部分もみられる。

白山火山地は白山火山系諸火山の被覆を受けておることが加越山地と異なっており。起伏量は県内最大の地域であり石川県境の取立山、鳥岳、大長山、赤兎山、をはじめその南側の法恩寺山、経ヶ岳といった白山火山群が聳立しており、また六呂師、平泉寺方面には火山緩斜台地をつくっておる。気候は山地の影響を受け越美山地とともに県内でも最も雪の多い地帯に入り県境では350cmを越し、年降水量も3000mmをこえる。土壌の母材はところどころ火山灰がみられるが新第三紀の安山岩を主としており土壌の分布は高海拔地の狭長な尾根等に乾性ポドゾル土壌がまた平坦な尾根部には湿性ポドゾル土壌が出現しており、その他の尾根や斜面上部に乾性褐色森林土壌、斜面中腹以下には褐色森林土壌といったパターンで分布しておる。また台地状の広い尾根や山脚及び山腹凹面、谷筋等にはところどころに黒ボク土壌が分布しておるのがこの地域の特徴である。

丹生山地は日本海側にある山地で地形的には一般に日本海に向かって急傾斜し、東方に向かって緩やかになっており気候的に日本海側は海の影響を強く受けておる。土壌の母材は一部中生代の流紋岩、花崗岩があるが多くは第三紀凝灰質砂岩、頁岩、礫岩、安山岩等である。土壌の分布は日本海側においては主として稜線まで褐色森林土壌が出現し、乾性褐色森林土壌は少ない。東側にあっては尾根や斜面上部に乾性褐色森林土壌が、斜面中腹以下および谷筋には褐色森林土壌が出現しておる。

全体的に土壌の生産力は東側よりも日本海側の方が良い。

丹生火山地は丹生山地北部の国見岳周辺の狭小な地域であり、尾根及び斜面上部には輝石安山岩を母材とする赤褐系の乾性褐色森林土壌が分布しその下部及び谷筋には褐色森林土壌が分布しておる。また一部日本海側等の斜面上部及び尾根に局所的に赤色土壌が点在しておる。

斜面下部及び谷筋に分布する褐色森林土壌は生産力も高くスギの植栽が行なわれ優良造林地もある。

越前中央山地は高度600~700mで中起伏と小起伏の部分からなっており気候的には奥地山間部と沿岸部との中間的傾向を持っておる地域である。土壌は一部の古期花崗岩類を除いたほかは殆んど新第三紀に属する火山岩およびこれに伴う碎屑岩類を母材としており褐色森林土壌が稜線にせまるように広く分布し、その上部に乾性褐色森林土壌が分布しておる。なお池田町に小面積ではあるが赤色土壌が乾性褐色森林土壌の上部に一部出現しておる。またこれも小面積であるが火山灰を母材とする黒ボク土壌が今立町に局所的に出現しておる。

土壌生産力は大政のBD型、BD(d)型、BE型土壌に相当する褐色森林土壌が高く、この土壌に対して積極的にスギの植栽が行なわれ、優良造林地も多くこの山地は林地としては生産力は高い。

南条山地は越美山地の連続とみられるが、高度が500~700mと低く中山性の起伏度で占められておることから越美山地とは趣きを異にしておる地域で気候的には山地気候と平地気候の中間にある。土壌は西部の丹生山地境(安山岩)を除き殆んど全域古生層を母材としており、尾根や斜面上部に乾性褐色森林土壌、斜面中腹以下に褐色森林土壌といった本県の一般的分布のしかたをしておる。この地域にもごく小面積であるが高度の低い尾根及び斜面上部に赤色土壌が一部出現しておる。土壌生産力は林地としては普通である。

越美山地は高度1200mにも及び山地で、また起伏量も白山火山地とともに本県の二大起伏量山地帯であり、気候的にも白山火山地と同じく豪雪地帯で年降水量も3000mmをこす。土壌は東部は主とし

中生層と古生層を、西部は古生層を主として母材にしており、1000m以上の稜線に乾性ポドソル土壌が分布し山頂等の平坦面においては湿性ポドソル土壌が点的に出現してある。その他の尾根や斜面上部には乾性褐色森林土壌、斜面中腹以下には褐色森林土壌が広く分布してある。土壌生産力の高い褐色森林土壌が広く分布してあるが地形的な制限等が加わり林地としての生産力は高くない。

湖北山地は南北方向の多数の断層により多数のブロック山地に分けられており、土壌の母材は古生層と花崗岩で占められてある。土壌の分布は黒河川上流においては一部標高500m前後の稜線に小面積ではあるが乾性ポドソル土壌が出現しており、その付近の尾根は赤色土壌が点在しているのが目立つ。他は敦賀半島を除いて尾根及び斜面上部に乾性褐色森林土壌、その下部に広く褐色森土壌が出現するといったパターンで分布してある。一方敦賀半島にあっては尾根及び斜面上部に広く乾性褐色森林土壌が分布しており褐色森林土壌の分布はきわめて少ない。生産力は林地としては敦賀半島は低くその他は高い所もあり優良造林地も見られる。

三遠山地は小起伏量の山地で高度において低く400m以下を占め、気候的には海岸の影響を強く受けてある。土壌母材は古生層を主としており乾性褐色森林土壌が広く多く分布し、尾根の一部にわずかに赤色土壌が点在してある。また谷筋等にわずかに褐色森林土壌が分布してある。材地としての生産力はきわめて低い。

若丹山地は本県の最南端部に位し、高原性の中起伏の山地で、気候的に日本海に接する側では県内で最も温暖な山地であり、県境側ではやゝ内陸性を示している。土壌母材は西部の中生代の輝緑岩ないし蛇紋岩を除いては殆んど古生層であり土壌の分布は県境側で尾根や斜面上部に乾性褐色森林土壌が出現し、その下部に広く褐色森林土壌が分布しており土壌生産力も高く県下有数の林業地である。海岸側では広く乾性褐色森林土壌が分布し、谷筋等にわずかに褐色森林土壌が出現してある程度である。また尾根には赤色土壌が点在しており林地として生産力は低い、特に大島半島にあっては超塩基性の蛇紋岩を母材とする暗赤色土壌が分布し非常に生産力の低い地帯をつくってある。

青葉火山地は内浦半島の南に聳立つ青葉山を中心とした地域で、気候的に温暖である。土壌は火山灰を母材とする黒ボク土壌が青葉山麓に出現する他は安山岩を母材とする乾性褐色森林土壌が広く分布し、谷筋等に小面積褐色森林土壌が見られる程度で、生産力は若丹山地における海岸部同様に低い。

3.2 丘陵、台地の土壌

これまで述べた山地の周辺部には、それぞれ大小の丘陵や台地が続いているが、代表的なものには加越丘陵、加越台地は、松岡丘陵、福部丘陵、丹生丘陵があり、これらも山地土壌同様に特徴のある分布傾向がみられる。以下その傾向について述べる。

加越丘陵は加越山地西端に続いている小起伏の丘陵で、土壌は第三紀の砂岩、頁岩を母材とした乾性褐色森林土壌が大部分を占めており、生産力は低い。

加越台地は加越丘陵西部の海岸に続く隆起性の台地で一部火山灰を母材とした黒ボク土壌が出現するが、大部分は厚い砂層をなした砂丘未熟土壌が分布しており生産力は高くない。

松岡丘陵は越前中央山地の両端に続く丘陵で土壌は第三紀変朽安山岩を母材とした赤褐色の乾性褐色森林土壌で占められ生産力は低位である。

福武丘陵は福井平野の南部から武生盆地にかけての島状の丘陵地で、沈降により平野の中に山頂部が

残ったもので土壌はいたるところの尾根に赤色土壌が出現しているが大部分は赤褐系の乾性褐色森林土壌で占められており林地の生産力は低位である。

丹生丘陵は丹生山地の東部に続く多数のブロック状の丘陵で、土壌は、北部は凝灰岩、礫岩、中央部は安山岩、南部の一部は花崗岩を母材としており、尾根や斜面上部に広く乾性褐色森林土壌が分布し、斜面下部や谷筋に褐色森林土壌が出現しており丹生山地よりも生産力は低位である。

上野 直之（林業試験場）

3.3 低地の土壌

福井県の低地は九頭竜川流域をはじめ、その支流である日野川、足羽川流域及び小河川流域の嶺北低地と、黒河川、筥川、井ノ口川、耳川、北川、南川、佐分利川など小河川流域に分布する嶺南低地とがあり、これら低地は殆んど水田として利用されている。

九頭竜川下流域の坂井地域は海岸沼沖積土壌からなっている場合が多く、そのため地下水位が高く、細粒グライ、グライ土壌が分布し、局部的に泥炭土壌、黒泥土壌が分布している。海岸地は三里浜砂丘となり砂丘未熟土壌である。

福井市を中心とする東部周辺の水田は一部九頭竜川、足羽川扇状地であり、粗粒灰色低地土壌、灰色低地土壌、粗粒グライ土壌が分布する。しかし殆んどが日野川、足羽川の下流域に当り、低湿であるため細粒グライ土壌が主体をなし、その他グライ土壌が分布し、山漆地の一部に泥炭、黒泥土壌が分布している。

九頭竜川中流域の表比低地は殆んどが河成段丘からなり、そのため粗粒灰色、灰色低地土壌が分布し、一部に火山性黒ボクの堆積した多湿黒ボク土壌が出現する。また九頭竜川上流域の勝山盆地では、細粒灰色、灰色低地土壌が主体となっている。しかし大野盆地では河川氾濫地がみられ、粗粒土壌が多く、粗粒灰色、灰色低地土壌が主体をなし、その他火山性黒ボクの堆積した多湿黒ボク土壌が、大野、勝山盆地ともに山漆えに細粒グライ、粗粒グライ土壌が分布している。

日野川中流域の武生盆地は、日野川右岸の一部に河川氾濫地があり、粗粒グライ土壌、粗粒灰色低地土壌が出現するが、殆んど細粒グライ土壌であり、その他多湿黒ボク土壌、グライ土壌、灰色低地土壌が分布し、山漆えの一部に泥炭、黒泥土壌が出現する。また上流域の南条低地では河川氾濫地が多く、粗粒グライ土壌、粗粒灰色低地土壌の分布が多い。しかし日野川左岸の山漆え一帯は細粒グライ土壌である。

足羽川上流域の低地は河川氾濫地からなっているため、粗粒質土壌が多く、粗粒グライ土壌、粗粒灰色低地土壌が分布し、中流域では灰色低地土壌が分布している。

嶺南低地は急峻な山岳地帯よりすぐ海岸にせまる場合が多く、低地の大部分が河川扇状地からなっており、全般に粗粒質土壌が多い。

黒河川、筥川、井ノ口川などによる敦賀平野は、河口が海岸沼沖積土壌であるため泥灰土壌の分布が多く、上流の扇状地は粗粒灰色低地土壌、粗粒グライ土壌が分布する。

耳川流域の美溪低地は上流域は粗粒灰色低地土壌で、下流域の扇状地は灰色低地土壌が殆んど、一部

にグライ土壌が分布する。またはす川流域の三方低地は地下水位が高く細粒質土壌が多く、細粒グライ土壌が主体をなし、一部粗粒灰色低地土壌、泥炭土壌が分布する。

北川、南川流域の小浜低地は河口の一部に、地下水の高い地域があり、細粒質土壌が多く、細粒グライ土壌、一部泥炭土壌が分布し、北川流域の中流は、細粒グライ、グライ、粗粒グライ土壌が主体で、上流は細粒グライ土壌、細粒灰色低地土壌、一部泥炭土壌が分布している。また南川流域は中流に粗粒グライ土壌、上流に火山性黒ボク土壌の堆積する多湿黒ボク土壌が分布する。

佐分利川流域の低地は種々の土壌が入り乱れ、主に細粒灰色低地土壌、細粒グライ土壌が分布している。

子生川流域の高浜低地は河口附近が地下水位高く、細粒グライ土壌となっているが、その他は細粒灰色低地土壌が分布している。

井上 六治（福井県農業試験場）

上田 一雄（ ” ” ）

4 土地利用可能性分級等の概要

4-1 土地利用現況の概要

1 総 説

福井県全体の土地利用は耕地が少なく森林が大半を占めている。

耕地は福井平野を中心とする低地帯，大野，勝山盆地など奥越低地帯，武生盆地を中心とする南越低地帯，敦賀平野を中心とする二州低地帯，小浜，高浜低地帯など若狭低地帯の5地域に集中し，その他三里浜砂丘地，加越丘陵地，丹生丘陵地がある。耕地のうち，水田は，福井平野を中心とする高志，坂井，南越丹生地域に最も多く分布し，次いで奥越，二州，若狭地域に分布する。水田は地形的に沖積低地に最も多く，次いで扇状地からなり，水田面積の約80%が既に基盤整備が完了している。

畑地はその面積が狭少で，加越丘陵地，三里浜砂丘地に殆んど分布し，その他丹生丘陵地，奥越山麓斜面，高志，二州，若狭低地帯に僅か散在している。

森林は山地の大部分を占めており，その過半は天然林の広葉樹であるが，越前中央山地における足羽郡美山町及び鯖江市東部にあっては人工林の針葉樹が多く，天然林の広葉樹よりも卓越している。また越美山地等の奥地で標高の高い地域では天然の針葉樹林がみられる。

2 各 説

(1) 三里浜砂丘

この地域は海岸砂丘地で森林，畑地からなり，畑地にはラッキョウ，大根，果菜類（メロン，スイカ）が栽培されている。また森林は針葉樹が主で，防風林の松林となっている。

(2) 福井平野

福井市を中心とする高志，坂井地域がこれに含まれ，水田面積の最も多い地域である。水田は水稻単作で生産力も比較的高い。

とくに高志地域は県の中で最も市街地が集中しており政治文化産業の中心地である。

(3) 志比低地

福井平野と勝山盆地の中間にあり，山と山とにはさまれた小低地である，とくに観光地として永平寺があり，中小企業に属する家内工業的な織布業が多い。しかし水田の土地利用形態は県内で裏作率の高い地帯である。

(4) 武生盆地

福井平野につづく南越低地帯で，日野川の中流域に属し地形は平坦である。

畑地がなく殆んど水田であり水稻の単作地帯であるが一部野菜の生産団地が形成されつつある。

市街地は福井平野についてまとまっており武生市，鯖江市とも工業都市を目指し，耕地の減少が見られる。

(5) 南条低地

日野川上流域の山あいの低地で耕地は極めて少ない，第2種兼業地帯で水稻単作である。

(6) 勝山盆地

九頭竜川の上流域であるが、土地が肥沃で生産力が高い。また、人参、里芋などの水田転作、イチゴの水田裏作などが盛んである。この地域も家内工業に属する織布業が多く耕地の減少が見られる。

7) 大野盆地

勝山盆地と並び九頭竜川上流域の盆地である。しかし勝山盆地に比しやや生産力が低いきらいがあるが、耕地面積がやゝ広く、畑地も僅かあり、勝山に並び水田の転作、裏作の多い地帯である。

(8) 敦賀平野

敦賀湾につながらる平野で、敦賀港をひかえ都市化が進み耕地が極めて減少している。

耕地は低湿なために殆んどが水田に利用され水稻作である。

(9) 美方低地

敦賀平野と同様、二州地域に包含される低地であるが、三方五湖、レインボーラインなど観光地をもち、さらに特産として西田梅もあり観光農業に生きようとその意欲が強い。

土地の利用は、耳川流域は乾田が多く分布することから二毛作田が多く、川流域は低湿地であるため湿田が多く水稻単作である。

10) 小浜低地

若狭地域に属し、北川、南川流域低地であり、北川右岸は雀粘土湿用で水稻単作である。しかし中流域では中粒質の乾田が多いため、二毛作田があり、主に若狭カンランの我増が盛である。しかし上流域は河口と同様、重粘土低湿田が分布し水稻単作である。

南川流域は昔より養蚕が盛んで現在もお桑園に利用されているが、減少の傾向がある。とくに小浜市は海のある奈良といわれる位古い都として国寶など国の重要文化財が多く、国寶めぐりなど観光が多い、最近観光開発が旺盛でエンゼルラインもその現われである。

(11) 高浜低地

小浜低地と並んで若狭地域に属し、子生川などの小河川の沖積地あり、若狭地域の中で最も生産力が高いとされている。しかし海水浴や釣客のための季節旅館等に主力がおかれ、水稻単作が多く農業生産性を低くしている。しかし海岸地の砂丘畑では果菜、葉菜類が栽培されている。

(12) 加越丘陵

坂井地域に属しているこの小起伏の丘陵地は尾根等稜線の一部に天然のアカマツ林が出現しており、その他大部分は天然の広葉樹林で覆われておる。スギの適地はほとんどみられず、谷筋等極小面積にスギが植林されておる程度で最近ゴルフ場等に開発されつつある。

(13) 加越台地

加越丘陵と同様に坂井地域に属している地域で林地の大部分は天然の広葉樹林で覆われており、沿岸部の一部にはクロマツの人工林がみられる。耕地は最近基盤整備が完了し水田として利用されておる。この他この地域ではゴルフ場として一部利用されておる。

(14) 松岡丘陵地

高志地域に属しておるこの小丘陵地の列は谷筋の一部のスギ人工林を塗いて大部分天然の広葉樹林で覆われている。

(15) 福武丘陵

高志地域の一部と南越地域の一部に属しているこの島状の小起伏丘陵は谷筋や山腹下部の一部のスギの人工林を除いて他は大部分天然の広葉樹林で覆われており福井市街地に近い足羽山は自然公園として市民のいこいの場となっておる。

(16) 丹生丘陵地

多数のブロック状丘陵となっておる丹生丘陵地は南越地域に属し、森林、畑地、水田が分布しておる。森林は天然のアカツ林及び天然の広葉樹林で大部分が覆われているが、谷筋や斜面下部にはスギやヒノキの造林がみられる。また宮崎村には竹林が出現しておりこの地方のタケノコ生産は有名である。なおこの地域は六所山を中心に面積240haの県民憩の森を保全林整備事業で造成し環境庁直轄の渡鳥観測センター建設も進み県民の期待も大きい。

(17) 加越山地

この山地の西部の標高の低い山地には一部天然のアカツ林がみられ、また谷筋や斜面下部にスギの人工林があるが大部分は天然のアカツ林がみられ、標高1000m台になるとブナ林もみられる。

(18) 白山火山地

この山地もまた大部分が天然の広葉樹林で覆われており、主にブナを主体とする湿帯性落葉広葉樹林であり、1100m位からシラカバ類もみられる。その他700m位まで天然のアカツ林が優占しており、谷筋や斜面下部ではスギの人工林、高海拔地では一部カラマツの人工林もみられる。

(19) 丹生山地

この山地も天然の広葉樹林が大部分を覆っている地域であり、特に西側の日本海側にはカシ、ツバキ、タモ、等の暖帯照葉樹林が含まれておる。谷筋や斜面下部には比較的スギやクロマツの人工林がみられる。

(20) 丹生火山地

本山地も天然の広葉樹林が大部分を覆っており一部アカマツの天然林が優先しているところもある。また谷筋や斜面下部に主にスギの人工林がいくらか見られる。

(21) 越前中央山地

本山地は全体的に見るとやはり天然の広葉樹林が大部分を覆っておる地域で、標高700m前後からブナ林が群状に見られる。一方本山地の人工林率は高く県平均を大きく上まわっており特に、美山、池田、河田地区においては稜線近くまでスギの人工林がせまっており、本県の林業上重要な一地域となっておる。

(22) 南条山地

本山地はアカマツを含めた天然の広葉樹林が大部分を覆っており、標高600mぐらいからブナ林が出現しておる。人工林率は県平均に近く大部分がスギの人工林で谷筋が斜面下部に分布しておる。

(23) 越美山地

本山地の大部分は天然の広葉樹林で覆われており、特にブナ林が大半を占めておるが一部奥地の高海拔地には天然の針葉樹(スギ、ユウヤマキ、ゴヨウマツ、ヒノキ等)がみられる。また谷筋や斜面下部にスギや一部カラマツの人工林がわずかに分布しておるが、本山地の人工林率はきわめて低く県内でも最もおくれしておる地域である。

(24) 湖北山地

本山地の大部分も天然の広葉樹林で覆われておるが、特に本山地の中央部を中心として標高700m以上においてはブナを主体にナラ、カエデ、等がみられる。黒河から新庄にかけては天然のスギの分布がみられるが、一方敦賀半島においてはカシ、タモ、ツバキ、アセビ等の暖地性のものがみられ、上層木は天然のアカマツ林が優占しておる。人工林は敦賀半島を除いて、だいたい谷筋とか斜面下部に分布しておる。特に黒河国有林に多い。

(25) 三遠山地

本山地の大部分は湖北山地の敦賀半島と同じく天然のアカマツを上層木として、カシ、タモ、ツバキ、アセビ等の暖地性の樹種を含んだ天然の広葉樹に覆われており、人工林は大変少なく斜面下部にキリ等の広葉樹とスギが一部見られる程度である。

(26) 若丹山地

本山地も大部分が天然の広葉樹林で覆われており、県境側では標高650m位からブナ林が出現しておるが海岸部や半島では敦賀半島や三遠山地と同様に天然のアカマツ林を上層木として、カシ、タモ、シイ等へ暖地性の樹種を含んだ天然の広葉樹林に覆われておる。大島半島にあっては土壤条件が悪く一部未立木地が出現しておる。人工林は殆んどスギで県境側の名田庄村では谷筋や斜面下部に多く分布しており県内でも有数の林業地である。

(27) 青葉火山地

本山地も大部分天然の広葉樹林で覆われており、敦賀半島、三遠山地、若丹山地の海岸沿と全く同じようにカシ、シイ、タモ等暖地性の樹種と天然のアカマツ林で覆われておる。

人工林はきわめて少なくところどころ竹林が分布しておる。

井上 六治(福井県農業試験場)

上田 一雄(")

上野 直之(福井県林業試験場)

4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要

本県における土地利用可能性分級は、所定の分級基準に基づき、それぞれ区分し1類地より8類地に区分することができる。

県内で最も大きい類地は4類地で、面積は2,376km²で、本県全面積の実に56.7%を占めている。示性式(2.42)かまたは(1.43)が殆んどで既に標高100~1,000mで傾斜が15°~30°で、土壤生産力等級区分は(P₂)~(P₃)である。

代表地域としては若狭地域、二州地域の主要部分を占める若狭若丹山地、二州三遠山地が顕著である。次いで3類地が559km²で13.3%を占めており、南越地域の武生盆地が顕著である。

さらに2類地、5類地、6類地の順にそれぞれ342km²から117km²ぐらいの面積で分布し、1類地としては奥越地域の勝山盆地の水田地帯に集団的に顕著に出現している。

4-2-1 1類地

(1) 勝山盆地の水田面積 20 km^2 の内 6 km^2 が1類地に属し、平均標高 140 m で、扇状地、P区分(P1)で細粒灰色低地土壌である。

(2) ついで高溪低地、小溪低地、三方低地、武生盆地、大野盆地に分布し、標高は 200 m 以内、傾斜(S1)P区分は(P1)でいずれも細粒灰色低地土壌であり、生産力が高く2毛作田に利用されている。

4-2-2 2類地

(1) 坂井地域の加越丘陵地に集中して分布し、その殆んどを占めている平均標高 30 m 、傾斜 3° 以内で、P区分は(P2)であり、黒ボク、多湿黒ボク土壌である。現在図の開拓パイロット事業により土地造成が行なわれており、水田、畑両面に利用されている。

(2) ついで奥越、坂井、高志地域など県内全域に分布し、標高 200 m 以内、傾斜 $0\sim 8^\circ$ P区分は(P1)から(P2)であり、土壌は灰色低地乃至褐色森林土壌である。

またこの類地では水田の外、畑地、林地に利用されている。

4-2-3 3類地

(1) 日野川中流域に属する武生盆地で、水田の殆んどが3類地である。平均標高 40 m で、地形は平坦、P区分は(P3)でグライ土壌である。

(2) 示性式 1-13 に属する3類地は、県下の水田面積の約 80% がこれに属する。標高は 200 m 以内、傾斜 3° 以内であり、P区分は(P3)でグライ土壌が最も多く、ついで粗粒灰色低地土壌、泥炭土壌、黒泥土壌、粗粒褐色低地土壌の順である。

(3) 山地に出現する3類地の面積は 182 km^2 でその大部分は示性式 2-32 か 1-32、及び 1-23 で表現されており、示性式 2-32 に属する類地は奥越地域の白山火山地及び越美山地の緩斜面に出現してある。また示性式 1-32 及び 1-23 に属する類地は 400 m 以下の県下全域の山地に点在してある。

4-2-4 4類地

(1) 県内で最も大きい面積を占める類地で特に山地に多く出現してある。示性式は 1-42、1-43、2-42、が大部分であり、特に 2-42 は奥越地域の加越山地及び越美山地に集中しており、一方 1-42、1-43 はその他の山地に広く分布し特に三州地域及び若狭地域にその特徴があらわれている。本類地には上記以外に若狭地域の大島半島に一部示性式 1-44 なる特色ある地域も含まれてある。

4-2-5 5類地

(1) 本類地は殆んど山地に出現し、主な示性式は 1-52、1-53、2-52、2-53、3-42、3-43、2-44 等である。その分布は奥越地域の白山火山地区及び越美山地が県下の8割を占め、その代表的示性式は 3-42、3-43 であるが一部和泉村の暗赤色土壌(P区分はP4)出現

地に2-44がみられる。示性式1-52, 1-53, 2-52, 2-53は他の山地に小面積ずつ散在してゐる。

4-2-6 6類地

(1) 本類地の分布は二州地域及び若狭地域の一部を除いて殆んど奥越地域の白山火山地及び越美山地の高海拔地における稜線部に限られており、示性式は2-45, 3-44, 3-45である。

4-2-7 7類地

(1) 本類地は二州, 若狭地域と南越地域の海岸線の一部の急傾斜地(S区分におけるS6)に分布し、主な示性式は1-62, 1-63である。

井上 六治(福井県農業試験場)

上田 一雄(")

上野 直之(福井県林業試験場)

B 統 計 の 部

1-1 土地利用現況別面積市町村内訳 (1)

区 分 市 町 村	農 地									林			
	田			畑					農 地 計	草 地 (野 草 地)	人 工 林		
	普 通 田	特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地					針 葉 樹	広 葉 樹	計
						果 樹 園	桑 茶 園 其 他	計					
福 井 市	8,004	—	8,004	438	1	47	18	65	8,509	—	5,492	47	5,539
敦 賀 市	1,659	0	1,659	115	2	31	5	36	1,812	14	2,990	177	3,167
武 生 市	3,726	—	3,726	209	3	18	3	21	3,959	—	2,996	—	2,996
小 浜 市	1,777	0	1,777	181	0	26	5	31	1,990	—	2,448	207	2,655
大 野 市	4,052	2	4,054	231	1	3	1	4	4,290	—	5,790	103	5,893
勝 山 市	1,989	0	1,989	124	—	4	2	6	2,118	—	5,025	—	5,025
鯖 江 市	2,636	—	2,636	108	—	2	0	2	2,746	—	1,790	5	1,795
市 部 計	23,843	2	23,845	1,406	7	131	34	165	25,424	14	26,531	539	27,070
美 山 町	518	—	518	105	—	2	0	2	625	—	5,475	12	5,487
松 岡 町	384	—	384	14	—	1	1	2	400	—	407	—	407
永 平 寺 町	387	—	387	26	0	0	0	0	414	—	1,043	—	1,043
上 志 比 村	307	—	307	28	—	0	0	0	335	—	304	—	304
和 泉 村	43	—	43	10	—	0	0	0	53	—	3,484	128	3,612
三 国 町	1,115	—	1,115	516	1	14	22	36	1,668	15	934	—	934
芦 原 町	1,400	—	1,400	330	1	13	8	21	1,752	80	464	8	472
金 津 町	1,483	—	1,483	214	5	16	14	30	1,732	—	1,798	—	1,798
丸 岡 町	2,019	—	2,019	60	0	1	0	1	2,080	—	1,881	—	1,881
春 江 町	1,519	—	1,519	50	—	—	—	—	1,569	—	—	—	—
坂 井 町	2,156	—	2,156	69	—	—	—	—	2,225	—	—	—	—
今 立 町	623	—	623	60	0	4	0	4	627	—	2,037	—	2,037
池 田 町	572	0	572	55	0	3	0	3	630	588	4,925	—	4,925
南 条 町	585	—	585	29	0	0	0	0	614	—	1,149	—	1,149
今 庄 町	497	0	497	38	—	9	2	11	547	—	2,915	1	2,916
河 野 村	91	0	91	30	—	14	0	14	136	—	1,116	10	1,126
朝 日 町	668	—	668	49	—	8	3	11	728	—	1,265	4	1,269
宮 崎 村	432	—	432	36	1	2	9	11	480	—	491	1	492
越 前 町	63	—	63	86	—	25	3	28	176	81	616	1	617
越 廼 村	55	—	55	35	—	12	0	12	102	—	273	4	277
織 田 町	372	—	372	41	1	0	15	15	428	1	786	0	786
清 水 町	1,030	1	1,031	53	1	16	2	18	1,103	—	586	11	597

(単位：ha)

地								宅 地	公 共 用 地 そ の 他	合 計
天 然 林			末 立 木 地			除 地	林 地 計			
針 葉 樹	広 葉 樹	計	採草放牧 に利用し ている土地	そ の 他	計					
1832	8,177	10,009	(63)	790	790	27	16,365	2,111	6,939	33,924
2082	13,917	15,999	(7)	389	389	260	19,829	759	2,528	24,928
295	7,221	7,516	—	268	268	39	10,819	749	2,971	18,498
1,578	13,924	15,502	—	919	919	117	19,193	391	1,798	23,372
463	33,786	34,249	—	3,336	3,336	2,338	45,816	483	3,577	54,166
207	12,847	13,054	—	1,194	1,194	387	19,660	316	3,238	25,332
112	956	1,068	—	227	227	—	3,090	745	1,840	8,421
6,569	90,828	97,397	(70)	7,123	7,123	3,168	134,772	5,554	22,891	188,641
131	5,996	6,127	—	832	832	58	12,504	71	655	13,855
94	410	504	—	15	15	—	926	105	430	1,861
216	2,680	2,896	—	75	75	—	4,014	96	495	5,019
96	1,318	1,414	—	65	65	—	1,783	48	353	2,519
26	26,508	26,534	—	389	389	520	31,055	23	2,129	33,260
14	29	43	—	150	150	—	1,142	242	1,401	4,453
28	17	45	—	33	33	5	635	237	1,133	3,757
1,030	1,845	2,875	—	178	178	1	4,852	197	1,097	7,878
374	4,463	4,837	—	231	231	47	6,996	265	1,476	10,817
—	—	—	—	—	—	—	—	179	713	2,461
—	—	—	—	—	—	—	—	147	816	3,188
55	798	853	—	222	222	8	3,120	152	549	4,508
21	11,841	11,862	(95)	1,074	1,074	59	18,508	66	273	19,477
41	2,487	2,531	—	389	389	8	4,077	64	591	5,346
131	17,603	17,734	—	1,537	1,537	213	22,400	72	1,148	24,167
4	2,882	2,886	—	191	191	81	4,284	16	577	5,013
116	1,631	1,747	(4)	98	98	2	3,116	107	608	4,559
179	1,528	1,707	—	114	114	—	2,313	50	537	3,380
105	1,697	1,802	—	207	207	9	2,716	37	732	3,661
43	805	848	—	52	52	4	1,181	16	161	1,460
149	1,890	2,039	—	123	123	5	2,954	46	473	3,901
286	1,254	1,540	(3)	111	111	0	2,248	78	783	4,212

	農 地											草 (野草地)	人 工 林		
	田			畑					農 地 計	地	人 工 林				
	普通 田	特殊 田	計	普通 畑	牧草 畑	樹 園 地					計		針 葉 樹	広 葉 樹	計
						果樹園	桑茶園 その他	計							
三方町	940	—	940	127	0	138	2	140	1,207	—	737	237	974		
美浜町	983	—	983	79	2	9	2	11	1,076	—	903	22	925		
上中町	1,196	—	1,196	84	0	11	3	14	1,293	64	967	20	987		
名田庄村	230	0	230	46	—	4	1	5	282	—	2,850	37	2,887		
高浜村	536	—	536	134	—	18	3	21	692	—	954	1	955		
大飯町	630	—	630	78	—	15	1	16	724	—	782	6	788		
郡部計	20,834	1	20,835	2,482	12	335	91	426	23,758	829	39,142	503	39,645		
合計	44,680	3	44,683	3,887	20	465	127	592	49,181	843	65,673	1,042	66,715		

(注)

- (1) 市町村面積は建設省国土地理院の「昭和45年全国都道府県市区町村別面積調」による。
- (2) 宅地は総務部地方課「固定資産に関する資料」による。(46年4月1日現在)
- (3) 農地、林地は「1970年世界農林業センサス福井県統計書」による。
- (4) 公共用地は(1)より農地、林地、宅地の面積を控除したもの。

1-2 D. I. D おおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳

区 分	市 街 地 の 内 訳								
	商 業 区	工 業 区			住 宅 区	そ の 他			
		重工業地	軽工業地	計		漁業区	運輸区	公共区	計
福井市	109	18	176	194	781	—	80	847	927

- (1) 市街地の内訳は土木部計画課調。(45年12月現在)
- (2) 市街地外の内訳は「1-1」による。

(単位：ha)

林						地		宅地	公共用地その他	合計
天然林			未立木地			除地	林地計			
針葉樹	広葉樹	計	採草放牧に利用している土地	その他	計					
1,100	4,459	5,559	—	157	157	16	6,706	115	1,684	9,712
1,140	10,171	11,311	—	487	487	21	12,744	149	1,309	15,278
1,395	3,562	4,957	(64)	131	131	56	6,195	121	620	8,229
309	9,905	10,214	—	575	575	51	13,727	44	256	14,309
587	3,293	3,880	—	797	797	211	5,843	124	420	7,079
1,230	3,322	4,552	(2)	176	176	14	5,530	77	482	6,813
8,903	122,394	131,297	(168)	8,409	8,409	1,389	181,569	2,944	21,901	230,172
15,472	213,222	228,694	(238)	15,532	15,532	4,557	316,341	8,498	44,793	418,813

(単位：ha)

市街地計	市街地外の内訳							合計
	農地	草地	林地	宅地	公共用地	その他	計	
2,011	9,972	—	16,365	722	4,854		31,913	33,924

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

単位 km²

傾斜区分 市町村	0°~3°	3~8°	8~15°	15~20°	20~30°	30~40°	40°~	合計	備考
福井市	185	15	9	30	95	5	—	339	
敦賀市	71	7	6	32	131	2	0	249	
武生市	72	14	7	26	64	2	—	185	
小浜市	63	1	1	10	157	1	1	234	
大野市	103	18	18	52	351	—	—	542	
勝山市	68	20	7	14	143	1	—	253	
鯖江市	58	0	0	4	22	—	—	84	
市部計	620	75	48	168	963	11	1	1,886	
美山町	35	0	2	15	82	4	—	138	
足羽郡計	35	0	2	15	82	4	—	138	
松岡町	10	0	0	1	8	—	—	19	
永平寺町	12	0	0	14	24	0	—	50	
上志比村	6	0	0	1	17	1	—	25	
吉田郡計	28	0	0	16	49	1	—	94	
和泉村	37	17	0	30	242	7	—	333	
大野郡計	37	17	0	30	242	7	—	333	
三国町	43	2	—	—	—	—	—	45	
芦原町	37	—	—	—	—	—	—	37	
金津町	26	8	17	2	26	—	—	79	
丸岡町	41	2	1	11	49	4	—	108	
春江町	25	—	—	—	—	—	—	25	
坂井町	32	—	—	—	—	—	—	32	
坂井郡計	204	12	18	13	75	4	—	326	
今立町	18	0	1	1	25	—	—	45	
池田町	35	1	2	30	127	0	—	195	
今立部計	53	1	3	31	152	0	—	240	

傾斜区分 市町村	0°～3°	3～8°	8～15°	15～20°	20～20°	30～40°	40°～	合 計	備 考
南条町	18	0	0	5	30	—	—	53	
今庄町	39	1	0	22	179	1	—	242	
河野村	12	0	0	8	24	3	3	50	
南条郡計	69	1	0	35	233	4	3	345	
朝日町	12	8	7	4	13	1	—	45	
宮崎村	5	10	1	15	3	—	—	34	
越前町	10	0	1	7	16	2	1	37	
越廼村	1	—	2	2	8	2	—	15	
織田町	9	7	9	7	6	1	—	39	
清水町	25	1	1	15	0	—	—	42	
丹生郡計	62	26	21	50	46	6	1	212	
三方町	30	3	1	7	52	3	1	97	
美浜町	31	5	4	27	86	—	—	153	
三方郡計	61	8	5	34	138	3	1	250	
上中町	28	2	0	6	46	—	—	82	
名田庄村	17	0	0	6	119	1	—	143	
遠敷郡計	45	2	0	12	165	1	—	225	
高浜町	21	6	4	5	34	—	1	71	
大飯町	13	0	0	7	46	1	1	68	
大飯郡計	34	6	4	12	80	1	2	139	
郡 計	628	73	53	248	1,262	31	7	2,302	
合 計	1,248	148	101	416	2,225	42	8	4,188	

2-2 標高区分別面積市町村別内訳

単位 km²

標高区分 市町村	0m } 100m	100m } 200m	200m } 400m	400m } 600m	600m } 800m	800m } 1000m	1000m } 1500m	1500m }	合計	備考
福井市	210	51	55	21	2	0	—	—	339	
敦賀市	58	61	54	55	21	—	—	—	249	
武生市	62	49	44	29	1	—	—	—	185	
小浜市	88	42	60	38	6	—	—	—	234	
大野市		45	64	84	140	131	76	2	542	
勝山市	10	43	56	53	34	27	30	—	253	
鯖江市	61	12	10	1	0	—	—	—	84	
市部計	489	303	343	281	204	158	106	2	1,886	
美山町	8	25	56	44	5	—	—	—	138	
足羽郡計	8	25	56	44	5	—	—	—	138	
松岡町	11	4	3	1	—	—	—	—	19	
永平寺町	10	8	13	6	4	9	—	—	50	
上志比村	6	4	8	6	1	—	—	—	25	
吉田郡計	27	16	24	13	5	9	—	—	94	
和泉村	—	—	3	54	102	84	88	2	333	
大野郡計	—	—	3	54	102	84	88	2	333	
三国町	45	—	—	—	—	—	—	—	45	
芦原町	37	—	—	—	—	—	—	—	37	
金津町	58	11	8	2	—	—	—	—	79	
丸岡町	42	13	23	13	9	8	—	—	108	
春江町	25	—	—	—	—	—	—	—	25	
坂井町	32	—	—	—	—	—	—	—	32	
坂井郡計	239	24	31	15	9	8	—	—	326	
今立町	18	11	11	5	0	—	—	—	45	
池田町	—	5	61	73	29	17	10	—	195	
今立郡計	18	16	72	78	29	17	10	—	240	

標高区分 市町村	0m	100m	200m	400m	600m	800m	1000m	1500m	合 計	備 考
	100 m	200 m	400 m	600 m	800 m	1000m	1500m			
南条町	11	15	18	8	1	—	—	—	53	
今庄町	6	21	74	77	35	22	7	—	242	
河野村	4	10	26	6	4	—	—	—	50	
南条郡市	21	46	118	91	40	22	7	—	345	
朝日町	21	13	10	1	—	—	—	—	45	
宮崎村	6	16	10	2	—	—	—	—	34	
越前町	6	9	15	6	1	—	—	—	37	
越廼村	4	2	4	5	0	—	—	—	15	
織田町	5	15	13	6	0	—	—	—	39	
清水町	32	9	1	—	—	—	—	—	42	
丹生郡計	74	64	53	20	1	—	—	—	212	
三方町	50	23	11	9	4	—	—	—	97	
美浜町	51	21	32	25	24	—	—	—	153	
三方郡計	101	44	43	34	28	—	—	—	250	
上中町	24	20	29	8	1	—	—	—	82	
名田庄村	7	7	51	66	12	—	—	—	143	
遠敷郡計	31	27	80	74	13	—	—	—	225	
高浜町	33	19	16	3	0	—	—	—	71	
大飯町	36	7	20	5	—	—	—	—	68	
大飯郡計	69	26	36	8	0	—	—	—	139	
郡 計	588	288	516	431	232	140	105	2	2,302	
合 計	1,077	591	859	712	436	298	211	2	4,188	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

地形区分 市町村	山地・火山地						丘陵地			台
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	山地 緩斜面	計	大起伏	小起伏	計	大山柱
福井市	—	47	99	0	—	146	—	14	14	—
敦賀市	—	88	112	—	—	200	—	—	—	—
武生市	—	19	49	—	—	68	26	—	26	—
小浜市	—	120	68	—	—	188	—	—	—	—
大野市	188	180	23	22	8	421	—	—	—	8
勝山市	44	103	35	14	—	196	—	—	—	—
鯖江市	—	4	21	—	—	25	7	1	8	—
市部計	232	561	407	36	8	1,244	33	15	48	8
美山町	6	59	43	—	—	108	—	—	—	—
足羽郡計	6	59	43	—	—	108	—	—	—	—
松岡町	—	2	4	—	—	6	—	0	0	—
永年寺町	4	13	19	—	—	36	—	—	—	—
上志比村	—	10	9	—	—	19	—	—	—	—
吉田郡計	4	25	32	—	—	61	—	0	0	—
和泉村	59	258	—	—	—	317	—	—	—	—
大野郡計	59	258	—	—	—	317	—	—	—	—
三国町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芦原町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金津町	—	6	12	—	—	18	—	16	16	—
丸岡町	15	32	16	2	—	65	—	—	—	—
春江町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
坂井町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
坂井郡計	15	38	28	2	—	83	—	16	16	—
今立町	—	9	25	—	—	34	—	—	—	—
池田町	21	100	33	—	—	154	—	—	—	—
今立郡計	21	109	58	—	—	188	—	—	—	—

単位 km²

地・段丘			低地				その他	合計	備考
砂礫 (上位)	砂礫 (下位)	計	扇地 性	三角 性	自然提 防砂州	計			
—	4	4	42	116	17	175	—	339	
—	11	11	24	14	0	38	—	249	
—	18	18	73	—	—	73	—	185	
—	—	—	34	12	0	46	—	234	
0	—	8	102	8	1	111	2	542	
1	37	38	19	—	—	19	—	253	
6	—	6	27	18	—	45	—	84	
7	70	85	321	168	18	507	2	1,886	
—	1	1	29	—	—	29	—	138	
—	1	1	29	—	—	29	—	138	
—	2	2	11	—	—	11	—	19	
—	10	10	4	—	—	4	—	50	
—	5	5	1	—	—	1	—	25	
—	17	17	16	—	—	16	—	94	
—	—	1	6	—	—	6	9	333	
—	—	1	6	—	—	6	9	333	
—	17	17	—	12	16	28	—	45	
—	12	12	—	18	7	25	—	37	
—	14	14	9	20	2	31	—	79	
—	—	—	38	2	3	43	—	108	
—	—	—	10	12	3	25	—	25	
—	—	—	10	19	3	32	—	32	
—	43	43	67	83	34	184	—	326	
—	—	—	8	3	—	11	—	45	
—	—	—	41	—	—	41	—	195	
—	—	—	49	3	—	52	—	240	

地形区分 市町村	山 地 ・ 火 山 地						丘 陵 地			台
	大起伏	中起伏	小起伏	山麓地	山 地 緩斜面	計	大起伏	小起伏	計	火山性
南条町	—	9	33	—	—	42	—	—	—	—
今庄町	42	158	26	—	—	226	—	—	—	—
河野村	—	22	20	—	—	42	—	—	—	—
南条郡計	42	189	79	—	—	310	—	—	—	—
朝日町	—	—	12	—	—	12	13	—	13	—
宮崎村	—	3	4	—	—	7	12	—	12	—
越前町	—	21	11	—	—	32	—	—	—	—
越廼村	—	12	2	—	—	14	—	—	—	—
織田町	—	8	16	—	—	24	4	—	4	—
清水町	—	—	6	—	—	6	—	11	11	—
丹生郡計	—	44	51	—	—	95	29	11	40	—
三方町	—	35	35	—	—	70	—	—	—	—
美浜町	—	65	59	2	—	126	—	—	—	—
三方郡計	—	100	94	2	—	196	—	—	—	—
上中町	—	40	21	—	—	61	—	—	—	—
名田庄村	—	122	9	—	—	131	—	—	—	—
遠敷郡計	—	162	30	—	—	192	—	—	—	—
高浜町	—	17	30	4	—	51	—	—	—	—
大飯町	—	19	30	—	—	49	—	—	—	—
大飯郡計	—	36	60	4	—	100	—	—	—	—
郡 計	147	1,020	475	8	—	1,650	29	27	56	—
合 計	379	1,581	882	44	8	2,894	62	42	104	8

地・段丘			低地				その他	合計	備考
砂礫 (上位)	砂礫 (下位)	計	扇地 性	三角 性	自然提 防砂州	計			
-	-	-	11	-	-	11	-	53	
-	-	-	16	-	-	16	-	242	
-	-	-	8	-	-	8	-	50	
-	-	-	35	-	-	35	-	345	
-	3	3	17	-	-	17	-	45	
-	8	8	7	-	-	7	-	34	
0	5	5	0	-	-	0	-	37	
-	-	-	1	-	-	1	-	15	
-	6	6	5	-	-	5	-	39	
-	3	3	10	12	0	22	-	42	
-	25	25	40	12	0	52	-	212	
-	0	0	9	9	0	18	9	97	
-	0	0	21	2	0	23	4	153	
-	0	0	30	11	0	41	13	250	
-	-	-	19	2	-	21	-	82	
-	0	0	12	0	-	12	-	143	
-	0	0	31	2	-	33	-	225	
-	-	-	7	12	1	20	-	71	
-	-	-	16	3	-	19	-	68	
-	-	-	23	15	1	39	-	139	
1	86	87	326	126	35	487	22	2,302	
8	156	172	647	294	53	994	24	4,188	

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳 №.1

	未 固 結 堆 積 物					小 計	泥 岩
	泥・砂・礫	砂(砂丘砂)	砂がち堆積物	礫がち堆積物 (段丘礫層)			
福井市	151.1	5.3	—	9.6	166.0	—	
敦賀市	34.5	—	—	5.0	39.5	—	
武生市	63.2	—	—	9.2	72.4	—	
小浜市	39.3	—	—	1.0	40.3	—	
大野市	55.0	—	—	10.3	65.3	—	
勝山市	17.4	—	—	28.4	45.8	—	
鯖江市	47.8	—	7	5.2	53.0	—	
美山町	12.0	—	—	2.2	14.2	—	
松岡町	8.9	—	—	1.2	10.1	—	
永平寺町	3.4	—	—	6.4	9.8	—	
上志比村	3.4	—	—	2.8	6.2	—	
三国町	19.3	8.5	13.4	—	41.2	—	
芦原町	19.9	1.7	14.4	—	36.0	—	
金津町	27.8	—	12.9	0.2	40.9	2.4	
丸岡町	36.0	—	—	1.3	37.3	—	
春江町	24.6	—	—	—	24.6	—	
坂井町	31.9	—	—	—	31.9	—	
和泉村	2.1	—	—	—	2.1	—	
今立町	12.2	—	—	—	12.2	—	
池田町	10.7	—	—	—	10.7	—	
朝日町	8.0	—	—	4.8	12.8	—	
宮崎村	4.4	—	—	2.2	6.6	—	
越前町	—	—	—	0.9	0.9	—	
越廼村	—	—	—	—	0.0	—	
織田町	4.2	—	—	4.8	9.0	—	
清水町	14.7	—	—	4.5	19.2	—	
南条町	11.2	—	—	—	11.2	—	
今庄町	12.0	—	—	—	12.0	—	
河野村	—	—	—	—	0.0	—	
三方町	12.2	—	—	6.9	19.1	—	
美浜町	13.9	—	—	5.4	19.3	—	
上中町	18.6	—	—	—	18.6	—	
名田庄村	5.6	—	—	—	5.6	—	
高浜町	12.7	—	—	—	12.7	—	
六飯町	13.6	—	—	—	13.6	—	
合計	751.6	15.5	40.7	112.3	920.1	2.4	

(单位 km³)

固 结 堆 积 物						
砂岩·泥岩	礫 岩	礫岩·砂岩·頁岩	礫岩·砂岩·凝灰岩	粘 板 岩	砂岩·粘板岩	砂岩·粘板岩互層
16.7	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	54.8	32.3
—	—	1.2	—	—	48.6	—
—	—	—	—	54.3	58.5	—
—	—	76.7	12.5	1.0	17.8	70.9
—	—	15.3	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	5.0	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	0.2	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
5.1	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	94.4	13.7	0.5	12.5	43.6
—	—	—	—	—	—	—
—	—	8.6	—	—	4.9	41.7
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	8.3	—	—	—	1.0	—
—	4.9	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	20.3	8.8
—	—	—	—	—	158.0	48.5
—	—	—	—	—	36.0	—
—	—	—	—	—	32.8	—
—	—	—	—	—	70.2	—
—	—	—	—	6.1	5.3	—
—	—	—	—	107.2	1.6	—
—	—	—	—	0.8	8.3	—
5.1	—	1.4	—	9.4	27.9	—
26.9	13.2	200.0	26.2	179.3	558.5	245.8

	固 結 堆 積 物					
	砂 岩	輝緑凝灰岩・ 粘板岩など	輝緑凝灰岩	珪質岩石	石灰岩	小 計
福井市	—	—	—	—	—	16.7
敦賀市	—	—	2.9	1.9	1.0	92.9
武生市	—	—	—	—	—	49.8
小浜市	—	36.7	13.0	27.3	0.7	190.5
大野市	—	—	14.0	5.0	0.7	198.6
勝山市	—	—	—	—	1.2	16.5
鯖江市	—	—	—	—	—	0.0
美山町	—	—	—	—	—	5.0
松岡町	—	—	—	—	—	0.0
永平寺町	—	—	—	—	—	0.0
上志比村	—	—	—	—	—	0.2
三国町	—	—	—	—	—	0.0
芦原町	—	—	—	—	—	0.0
金津町	—	—	—	—	—	7.5
丸岡町	—	—	—	—	—	0.0
春江町	—	—	—	—	—	0.0
坂井町	—	—	—	—	—	0.0
和泉村	—	—	17.3	—	3.4	185.4
今立町	—	—	—	—	—	0.0
池田町	29.7	—	—	0.2	—	85.1
朝日町	—	—	—	—	—	0.0
宮崎村	—	—	—	—	—	0.0
越前町	—	—	—	—	—	9.3
越廼村	—	—	—	—	—	4.9
織田町	—	—	—	—	—	0.0
清水町	—	—	—	—	—	0.0
南条町	—	—	—	8.0	—	37.9
今庄町	—	—	3.9	16.7	—	227.1
河野村	—	—	—	1.7	—	37.7
三方町	—	22.7	1.6	0.4	—	57.5
美浜町	—	2.4	9.9	1.7	—	84.2
上中町	—	38.4	—	13.4	—	63.2
名田庄村	—	—	5.9	22.8	—	137.5
高浜町	—	—	—	—	—	15.6
大飯町	—	—	—	1.1	—	38.4
合 計	30.5	100.2	68.5	100.2	7.0	1,561.5

火 山 性 岩 石						
泥流堆積物	安山岩質岩石	凝灰質岩石	流紋岩質岩石	安山岩質岩石	綠色凝灰岩類	流紋岩質岩石
—	—	63.0	23.6	12.6	56.4	0.9
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	2.4	—	7.7	40.1
—	—	—	—	—	—	—
17.6	109.7	—	—	—	72.3	14.4
4.1	103.4	—	0.9	—	57.9	14.5
—	—	—	4.4	—	26.2	0.6
—	—	—	—	—	107.3	4.7
—	—	—	—	—	8.5	—
—	—	—	2.8	—	33.6	0.7
—	—	—	—	—	17.2	0.5
—	—	—	—	3.3	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	29.8	—	—	—	—
—	—	12.7	16.0	—	42.2	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	24.1	—	—	—	—	95.7
—	—	—	0.9	—	32.0	—
—	—	—	—	—	87.7	2.2
—	—	4.6	6.9	—	20.8	0.5
—	—	—	3.5	—	2.9	10.8
—	—	0.7	3.7	—	10.2	11.2
—	—	2.7	1.6	0.9	4.5	—
—	—	2.7	3.0	—	9.3	3.4
—	—	1.6	4.2	—	17.1	—
—	—	—	—	—	—	4.4
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	9.0	3.4
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—
—	—	2.8	—	12.6	0.3	2.5
—	—	—	—	—	—	—
21.7	237.2	120.6	73.9	29.4	623.1	210.5

	深 成 岩					
	小 計	花崗岩 質石 岩	塩基性火成 岩 類	蛇紋岩 質石 岩	花崗岩 質石 岩	小 計
福井市	156.5	—	—	—	—	—
敦賀市	0.0	116.8	—	—	4.9	116.8
武生市	50.2	7.6	—	—	—	12.5
小浜市	0.0	2.9	—	—	12.5	2.9
大野市	214.8	40.0	—	—	1.4	52.5
勝山市	180.8	—	2.0	—	—	3.4
鯖江市	31.2	—	—	—	6.4	—
美山町	112.0	—	—	—	—	6.4
松岡町	8.5	—	—	—	3.3	—
永平寺町	37.1	—	—	—	—	3.3
上志比村	17.7	—	—	—	—	—
三国町	3.3	—	—	—	—	—
芦原町	0.0	—	—	—	—	—
金津町	29.8	—	—	—	—	—
丸岡町	70.9	—	—	—	—	—
春江町	0.0	—	—	—	—	—
坂井町	0.0	—	—	—	—	—
和泉村	119.8	—	—	1.4	—	1.4
今立町	32.9	—	—	—	—	—
池田町	89.9	1.0	—	—	8.1	9.1
朝日町	32.8	—	—	—	—	—
宮崎村	17.2	8.5	—	—	1.5	10.0
越前町	25.8	0.6	—	—	—	0.6
越廼村	9.7	—	—	—	—	—
織田町	18.4	11.6	—	—	—	11.6
清水町	22.9	—	—	—	—	—
南条町	4.4	—	—	—	—	—
今庄町	0.0	2.6	—	—	—	2.6
河野村	12.4	—	—	—	—	—
三方町	0.0	12.2	—	—	—	12.2
美浜町	0.0	47.3	—	—	—	47.3
上中町	0.0	0.5	—	—	—	0.5
名田庄村	0.0	—	—	—	—	—
高浜町	18.2	—	20.6	3.4	—	24.0
大飯町	0.0	—	9.1	7.0	—	16.1
合 計	1,316.4	251.6	31.7	11.8	38.1	333.2

変 成 岩				
結 晶 片 岩	片 麻 岩	小 計	湖	総 計
—	—	0.0	—	339.2
—	—	0.0	—	249.2
—	—	0.0	—	184.9
—	—	0.0	—	233.7
—	8.2	8.2	3.1	541.7
—	6.8	6.8	—	253.3
—	—	0.0	—	84.2
—	1.0	1.0	—	38.6
—	—	0.0	—	18.6
—	—	0.0	—	50.2
—	1.1	1.1	—	25.2
—	—	0.0	—	44.5
—	—	0.0	1.6	37.6
—	—	0.0	0.6	78.8
—	—	0.0	—	108.2
—	—	0.0	—	24.6
—	—	0.0	—	31.9
4.9	3.6	8.5	15.1	332.3
—	—	0.0	—	45.1
—	—	0.0	—	194.8
—	—	0.0	—	45.6
—	—	0.0	—	33.8
—	—	0.0	—	36.6
—	—	0.0	—	14.6
—	—	0.0	—	39.0
—	—	0.0	—	42.1
—	—	0.0	—	53.5
—	—	0.0	—	241.7
—	—	0.0	—	50.1
—	—	0.0	8.3	97.1
—	—	0.0	2.0	152.8
—	—	0.0	—	83.3
—	—	0.0	—	143.3
—	—	0.0	—	70.5
—	—	0.0	—	68.1
4.9	20.7	25.6	30.7	4,187.5

表層地質の性状別分布面積
未 固 結

			沖 積 地		
			砂を主とする地域	泥・砂・礫を主とする地域	泥を主とする地域
福井市			5.3	116.4	19.3
敦賀市			—	28.5	—
武生市			—	49.9	—
小浜市			—	39.3	—
大野市			—	55.0	—
勝江市			—	17.4	—
鯖江市			—	47.8	—
美山町			—	12.0	—
松岡町			—	3.4	—
永平寺町			—	3.2	—
上志比村			—	3.4	—
三国町			8.5	8.1	11.2
芦原町			1.7	12.1	7.8
金津町			—	27.8	—
丸岡町			—	25.0	—
春江町			—	15.6	9.0
坂井町			—	20.0	11.9
和泉村			—	2.1	—
今立町			—	12.2	—
池田町			—	10.7	—
朝日町			—	8.0	—
宮崎村			—	4.4	—
越前町			—	—	—
越廼村			—	—	—
織田町			—	4.2	—
清水町			—	14.7	—
南条町			—	11.2	—
今庄町			—	12.0	—
河野村			—	—	—
三方町			—	12.2	—
美浜町			—	13.9	—
上中町			—	18.6	—
名田庄村			—	5.6	—
高浜町			—	12.7	—
大飯町			—	13.6	—
合 計			15.5	641.0	59.2

市町村別内訳
堆積物

(単位 km²)

扇状地堆積物	台地		未固結計
	砂を主とする地域	砂・礫を主とする地域	
15.4	—	9.6	166.0
6.0	—	5.0	39.5
13.3	—	9.2	72.4
—	—	1.0	40.3
—	—	10.3	65.3
—	—	28.4	45.8
—	—	5.2	53.0
—	—	2.2	14.2
5.5	—	1.2	10.1
0.2	—	6.4	9.8
—	—	2.8	6.2
—	13.4	—	41.2
—	14.4	—	36.0
—	12.9	0.2	40.9
11.0	—	1.3	37.3
—	—	—	24.6
—	—	—	31.9
—	—	—	2.1
—	—	—	12.2
—	—	—	10.7
—	—	4.8	12.8
—	—	2.2	6.6
—	—	0.9	0.9
—	—	—	0.0
—	—	4.8	9.0
—	—	4.5	19.2
—	—	—	11.2
—	—	—	12.0
—	—	—	0.0
—	—	6.9	19.1
—	—	5.4	19.3
—	—	—	18.6
—	—	—	5.6
—	—	—	12.7
—	—	—	13.6
51.4	40.7	112.3	920.1

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

土 壤 統 計 市 町 村	岩屑土		未熟土		黒ボク土			褐色森林土				ポドゾル			黄色	
	岩 屑 性 土 壤	計	砂 丘 未 熟 土 壤	崩 積 性 未 熟 土 壤	黒 ボ ク 土 壤	多 湿 黒 ボ ク 土 壤	計	乾 性 褐 色 森 林 土 壤	乾 性 褐 色 森 林 土 壤 (赤褐系)	褐 色 森 林 土 壤	計	乾 性 ポ ド ゾ ル 土 壤	湿 性 ポ ド ゾ ル 土 壤	計	赤 色 土 壤	暗 赤 土 壤
福井市	-	-	2	-	2	-	-	22	57	80	159	-	-	-	7	-
敦賀市	-	-	1	-	1	-	-	71	-	124	195	0	-	0	3	-
武生市	-	-	-	-	-	1	1	2	54	-	54	108	-	-	-	-
小浜市	-	-	-	-	-	0	2	2	111	-	80	191	-	-	1	-
大野市	8	8	-	-	-	9	9	18	128	-	274	400	41	1	42	-
勝山市	0	-	-	-	-	5	1	6	61	-	119	180	9	3	12	-
鯖江市	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	25	31	-	-	-	-
市部計	8	8	3	-	3	15	13	28	451	57	756	1,264	50	4	54	11
美山町	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	85	125	-	-	-	0
足羽郡計	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	85	125	-	-	-	0
松岡町	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	5	9	-	-	-	-
永平寺町	-	-	-	-	-	-	1	1	16	-	24	40	0	-	0	-
上志比村	-	-	-	-	-	-	1	1	8	-	10	18	0	-	0	-
吉田郡計	-	-	-	-	-	-	2	2	27	1	39	67	0	-	0	-
和泉村	1	1	-	-	-	-	-	-	97	-	180	277	30	1	31	-
大野郡計	1	1	-	-	-	-	-	-	97	-	180	277	30	1	31	-
三国町	-	-	11	-	11	7	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-
芦原町	-	-	3	-	3	6	1	7	3	-	3	-	-	-	-	-
金津町	-	-	-	-	-	4	2	6	34	-	15	49	-	-	-	-
丸岡町	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	43	68	2	-	2	0
春江町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂井町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂井郡計	-	-	14	-	14	17	6	23	62	-	58	120	2	-	2	0
今立町	-	-	-	-	-	0	0	0	8	-	23	31	-	-	-	-
池田町	1	1	-	1	1	-	-	-	58	-	122	180	3	-	3	0
今立郡計	1	1	-	1	1	0	0	0	66	-	145	211	3	-	3	0

単位 km²

色土		褐色地土		灰色低地土				グライ土				黒泥土		低位泥炭土		岩 石 地	未 区 分 地	合 計
黄色土壌	計	粗粒褐色低地土壌	計	細粒灰色低地土壌	灰色低地土壌	粗粒灰色低地土壌	計	細粒グライ土壌	グライ土壌	粗粒グライ土壌	計	黒泥土壌	計	低位泥炭土壌	計			
—	7	4	4	—	5	6	11	29	26	4	59	2	2	5	5	—	90	339
1	4	—	—	—	—	6	6	—	3	4	7	—	—	3	3	—	33	249
3	3	—	—	—	0	6	6	12	9	7	28	1	1	0	0	—	37	185
1	2	—	—	2	0	2	4	5	6	2	13	—	—	—	—	—	22	234
0	0	—	—	1	7	14	22	5	0	6	11	—	—	—	—	—	41	542
1	1	3	3	8	3	4	15	1	0	—	1	—	—	—	—	—	35	253
0	0	—	—	2	1	0	3	18	4	2	24	—	—	—	—	—	26	84
6	17	7	7	13	16	38	67	70	48	25	143	3	3	8	8	—	284	1886
0	0	—	—	—	2	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	138
0	0	—	—	—	2	4	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	138
0	0	—	—	—	0	2	2	2	—	0	2	—	—	—	—	—	6	19
0	0	—	—	—	0	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	50
0	0	0	0	—	2	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	25
0	0	0	0	—	2	5	7	2	—	0	2	—	—	—	—	—	16	94
0	2	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	333
—	2	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21	333
—	—	0	0	—	0	0	0	1	4	—	5	1	1	1	1	—	17	45
—	—	0	0	—	1	1	2	—	4	1	5	2	2	2	2	—	13	37
—	—	—	—	0	2	0	2	2	6	1	9	0	0	0	0	—	13	79
1	1	—	—	—	2	7	9	2	6	3	11	0	0	—	—	—	17	108
—	—	—	—	—	1	—	1	10	2	0	12	3	3	—	—	—	9	25
—	—	—	—	0	1	—	1	10	8	1	19	2	2	—	—	—	10	32
1	1	0	0	0	7	8	15	25	30	6	61	8	8	3	3	—	79	326
0	0	—	—	0	1	—	1	1	1	3	5	1	1	—	—	—	7	45
—	0	2	2	—	1	0	1	—	2	1	3	—	—	—	—	—	4	195
0	0	2	2	0	2	0	2	1	3	4	8	1	1	—	—	—	11	240

土 壤 統 計 市 町 村	岩屑土		未熟土		黒ボク土			褐色森林土				ポドゾル			黄赤		
	岩 屑 性 土 壤	計	砂 丘 未 熟 土 壤	崩 積 性 未 熟 土 壤	黒 ボ ク 土 壤	多 湿 黒 ボ ク 土 壤	計	乾 性 褐 色 森 林 土 壤	乾 性 褐 色 森 林 土 壤 (赤褐系)	褐 色 森 林 土 壤	計	乾 性 ポ ド ゾ ル 土 壤	湿 性 ポ ド ゾ ル 土 壤	計	赤 色 土 壤	暗 赤 色 土 壤	
南条町	—	—	—	—	—	—	—	18	—	23	41	—	—	—	0	—	
今庄町	—	—	—	—	—	—	—	67	—	147	214	8	1	9	1	—	
河野村	—	—	—	—	—	—	—	10	—	33	43	—	—	—	—	—	
南条郡計	—	—	—	—	—	—	—	95	—	203	298	8	1	9	1	—	
朝日町	—	—	—	—	—	—	—	6	3	21	30	—	—	—	1	—	
宮崎村	—	—	—	—	—	—	—	12	—	11	23	—	—	—	0	—	
越前町	—	—	—	—	—	—	—	5	—	23	28	—	—	—	—	—	
越廼村	—	—	—	—	—	—	—	1	—	12	13	—	—	—	—	—	
織田町	—	—	—	—	—	—	—	18	—	12	30	—	—	—	—	—	
清水町	—	—	—	—	—	—	—	1	14	4	19	—	—	—	4	—	
丹生郡計	—	—	—	—	—	—	—	43	17	83	143	—	—	—	5	—	
三方町	—	—	—	—	—	—	—	48	—	22	70	—	—	—	—	—	
美浜町	—	—	1	—	1	—	0	0	66	—	59	125	1	—	1	0	
三方郡計	—	—	1	—	1	—	0	0	114	—	81	195	1	—	1	0	
上中町	—	—	—	—	—	—	—	30	—	32	62	—	—	—	1	—	
名田庄村	—	—	—	—	—	1	2	3	34	—	102	136	0	—	0	1	
遠敷郡計	—	—	—	—	—	1	2	3	64	—	134	198	0	—	0	2	
高浜町	—	—	1	—	1	2	—	2	37	—	17	54	—	—	—	0	3
大飯町	—	—	—	—	—	—	—	—	31	—	18	49	—	—	—	0	6
大飯郡計	—	—	1	—	1	2	—	2	68	—	35	103	—	—	—	0	9
郡計	2	2	16	1	17	20	10	30	676	18	1,043	1,737	44	2	46	8	11
合計	10	10	19	1	20	35	23	58	1,127	75	1,799	3,001	94	6	100	19	11

色土		褐色低地土		灰色低地土				グライ土				黒泥土		低位炭土		岩 石 地	未 区 分 地	合 計
黄色土壌	計	粗粒褐色低地土壌	計	細粒褐色低地土壌	灰色低地土壌	粗粒灰色低地土壌	計	細粒グライ土壌	グライ土壌	粗粒グライ土壌	計	黒泥土壌	計	低位泥炭土壌	計			
—	0	—	—	—	0	2	2	1	2	1	4	—	—	—	—	6	53	
—	1	—	—	—	0	2	2	—	1	3	4	—	—	—	—	12	242	
0	0	—	—	—	—	0	0	1	—	—	1	—	—	—	—	6	50	
0	1	—	—	—	0	4	4	2	3	4	9	—	—	—	—	24	345	
1	2	—	—	—	—	0	0	6	0	—	6	—	—	—	—	7	45	
0	0	—	—	—	0	0	0	3	1	1	5	—	—	—	—	6	34	
0	0	—	—	0	0	1	1	0	—	—	0	—	—	—	—	8	37	
0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	15	
0	0	—	—	0	0	0	0	1	3	—	4	—	—	—	—	5	39	
—	4	0	0	0	—	—	0	10	0	—	10	0	0	1	1	8	42	
1	6	0	0	0	0	1	1	20	4	1	25	0	0	1	1	36	212	
—	—	—	—	1	0	1	2	4	1	1	6	—	—	1	1	18	97	
1	1	—	—	—	1	6	7	—	1	1	2	—	—	1	1	15	153	
1	1	—	—	1	1	7	9	4	2	2	8	—	—	2	2	33	250	
0	1	—	—	1	0	2	3	4	3	1	8	—	—	1	1	7	82	
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	143	
0	2	—	—	1	0	2	3	4	3	1	8	—	—	1	1	10	225	
—	3	—	—	3	—	—	3	1	0	1	2	—	—	—	—	6	71	
—	6	—	—	3	1	0	4	2	0	1	3	0	0	—	—	6	68	
—	9	—	—	6	1	0	7	3	0	2	5	0	0	—	—	12	139	
3	22	2	2	8	15	32	55	61	45	20	126	9	9	7	7	249	2,302	
9	39	9	9	21	31	70	122	131	93	45	269	12	12	15	15	533	4,188	

3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

単位 km²

土地利用可能性分級 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
福井市	—	17	98	129	5	—	—	90	339	
敦賀市	—	20	31	163	2	0	0	33	249	
武生市	—	13	43	90	2	—	—	37	185	
小浜市	2	16	25	167	1	—	1	22	234	
大野市	1	60	35	258	92	55	—	41	542	
勝山市	6	25	17	139	19	12	—	35	253	
鯖江市	1	5	26	26	—	—	—	26	84	
市部計	10	156	275	972	121	67	1	284	1,886	
美山町	—	15	15	97	4	—	—	7	138	
足羽郡計	—	15	15	97	4	—	—	7	138	
松岡町	—	—	4	9	—	—	—	6	19	
永平寺町	—	4	2	38	0	—	—	6	50	
上志比村	—	2	—	18	1	—	—	4	25	
吉田郡計	—	6	6	65	1	—	—	16	94	
和泉村	—	15	4	180	81	32	—	21	333	
大野郡計	—	15	4	180	81	32	—	21	333	
三国町	—	10	7	11	—	—	—	17	45	
芦原町	—	9	12	3	—	—	—	13	37	
金津町	—	9	29	28	—	—	—	13	79	
丸岡町	—	7	20	58	4	2	—	17	108	
春江町	—	3	13	—	—	—	—	9	25	
坂井町	—	3	19	—	—	—	—	10	32	
坂井郡計	—	41	100	100	4	2	—	79	326	
今立町	0	5	7	26	—	—	—	7	45	
池田町	—	22	12	147	6	4	—	4	195	
今立郡計	—	27	19	173	6	4	—	11	240	

土地利用 可能性分 級 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
南条町	—	5	7	35	—	—	—	6	53	
今庄町	—	18	10	186	5	11	—	12	242	
河野村	—	6	—	32	3	—	3	6	50	
南条郡計	—	29	17	253	8	11	3	24	345	
朝日町	—	6	14	17	1	—	—	7	45	
宮崎村	—	3	7	18	0	—	—	6	34	
越前町	—	2	1	23	2	—	1	8	37	
越廼村	—	1	—	10	2	—	—	2	15	
織田町	—	4	16	13	1	—	—	5	39	
清水町	—	1	18	15	—	—	—	8	42	
丹生郡計	—	17	56	96	6	—	1	36	212	
美方町	0	2	14	59	3	—	1	18	97	
美浜町	—	8	17	112	—	1	0	15	153	
三方郡計	0	10	31	171	3	1	1	33	250	
上中町	1	5	17	52	—	—	—	7	82	
名田庄村	—	14	—	125	1	—	—	3	143	
遠飯郡計	1	19	17	177	1	—	—	10	225	
高浜町	3	7	15	39	0	—	1	6	71	
大飯町	3	0	4	53	1	0	1	6	68	
大飯郡計	6	7	19	92	1	0	2	12	139	
郡計	7	186	284	1,404	115	50	7	249	2,302	
合計	17	342	559	2,376	236	117	8	533	4,188	

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

単位 km²

土地利用可能性分級 地形区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
山地・ 火山地	—	166	91	2,283	229	117	8	—	2,894	
丘陵地	—	25	34	39	4	—	—	2	104	
台地・ 丘	—	29	75	54	3	—	—	11	172	
低地	17	122	359	—	—	—	—	520	1,018	湖面24 を含む
合計	17	342	559	2,376	236	117	8	533	4,188	

3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

単位 km²

土地利用可能性分級 傾斜	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
0°～3°(S1)	17	300	352	46	—	—	—	533	1,248	
3°～8°(S2)	—	42	106	—	—	—	—	—	148	
8°～15°(S3)	—	—	101	—	—	—	—	—	101	
15°～30°(S4)	—	—	—	2,330	194	117	—	—	2,641	
30°～40°(S5)	—	—	—	—	42	—	—	—	42	
40°～ (S6)	—	—	—	—	—	—	8	—	8	
合計	17	342	559	2,376	236	117	8	533	4,188	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

単位 km²

土地利用可能性分級 標高区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
低暖地帯(H1)	17	279	532	1,151	29	1	8	510	2,527	
山間地帯(H2)	—	63	25	1,223	67	45	—	23	1,446	
高冷地帯(H3)	—	—	2	2	140	71	—	—	215	
生産限界地帯 (H4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	17	342	559	2,376	236	117	8	533	4,188	

3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連

単位 km²

土地利用可能性分級 土壌生産力可能性等級区分	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地 (未区分地)	合計	備考
はなはだよい(P1)	17	3	1	—	—	—	—	—	21	
ややよい(P2)	—	339	75	1,378	105	1	2	—	1,900	
やや劣る(P3)	—	—	483	971	128	6	6	—	1,594	
劣る(P4)	—	—	—	27	3	0	—	—	30	
はなはだ劣る(P5)	—	—	—	—	—	110	—	(533)	643	()は宅 地、公共用 地、その他
合計	17	342	559	2,376	236	117	8	533	4,188	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性分級 地域の概要		1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地	
地 域 名 (団 地 名)		奥越地域 勝山盆地	坂井地域 加越台地	南越地域 武生盆地	若狭三州地域 若丹,三遠I地	
地 形	傾 斜 (谷 密 度)	S ₁ (0°~3°) 2 ~ 4	S ₁ (0°~3°) 0	S ₁ ~ S ₃ (0°~15°) 0	S ₂ ~ S ₄ (3°~30°) 2 ~ 2.5	
	標 高 限 界 (植 栽 限 界)	400m 以下	400m 以下	400m 以下	400m 以下	
表層地質		岩 石 の 種 類 軟 沖 積 世	礫, 砂 粘 土 軟 洪 積 世	礫, 砂 粘 土 軟 沖 積 世	粘 板 岩 チャート 硬 古 生 代	
土 壤	農 田	土壌統群生産力可能性分級	細粒灰色低地 土壌 I	多湿黒ボク土 壤 II	グライ土壌 III	—
	地 畑	土壌統群生産力可能性等級	—	黒ボク土壌 II	—	—
	草 地	土 壤 統 群 生 産 力 可 能 性 等 級	—	—	—	—
	林 地	土 壤 統 群 地 位 級	—	—	褐色森林土壌 乾性褐色森林 土壌 II, III	褐色森林土壌 乾性褐色森林 土壌 II, III
水 利 用	地 表 水	○	—	○	○	
	地 下 水	○	○	○	—	
	天 水	—	—	—	—	
気 候 区 分		北 陸	北 陸	北 陸	北 陸	
面 積	土地利用可能性類地別面積県内合計 (A)	17	342	236	2,376	
	当該地域の類地別面積県内合計 (B)	6	19	69	770	
	% (B/A)	35	6	12	32	

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	備 考
奥越山地 白山火山地, 越美山地	奥越地域 白山火山地, 定成美山地	若狭地域 若丹山地 ※	高志地域 越前平野 ※	※ 6類地の奥越地域、白山火山地、 越美山地は主に標高1,000m以上の 背梁部を指す。 ※ 7類地の若狭地域若丹山地は半島 など海岸部を指す。 ※ 8類地の高志地域、越前平野は福 井市街地を指す。
S ₄ ~S ₅ (15°~40°) 23~26	S ₄ ~S ₅ (15°~40°) 17~21	S ₆ (40°以上) 10	S ₁ (0°~3°) 0	
400m以上	400m以上	400m以下	400m以下	
砂 岩 頁 岩 硬 中, 古生代	砂 岩 硬 中, 古生代	粘 板 岩 砂 岩 硬 古 生 代	礫, 砂, 粘土 軟 沖 積 世	
—	—	—	—	
—	—	—	—	
—	—	—	—	
乾性褐色森林 土壌 Ⅲ	乾性ポドゾル 湿性ポドゾル 岩屑性土壌 Ⅴ	乾性褐色森林 土壌 Ⅲ	—	
○ — —	○ — —	○ — —	○ ○ —	
北 陸	北 陸	北 陸	北 陸	
236 192 81	117 99 85	8 3 38	533 90 17	

3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳

市町村名	類地区分			土 地 利 用 の 現 況											備 考		
				水 田		畑				草 地		林 地				空 地 その他	
	類地区分	包含される示性式	面積	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	人工林 主要樹種および平均収穫量率	土地利用率		天然林 主要樹種および平均収穫量率	土地利用 占有率
福井市	1類地																
	2類地	1.12	17	C	103							D	スギ アカマツ 105	D	広		
	3類地	1.13 1.32 1.23 1.33	98	A	100									D	アカマツ 広		
	4類地	1.14 2.42 1.42 2.43 1.43	129											A	アカマツ 広		
	5類地	1.52 1.53	5											A	広		
	6類地																
	7類地																
	8類地		90														A
市町村計			339														
敦賀市	1類地																
	2類地	1.12 1.22	20									C	スギ 105	B	広		
	3類地	1.13 1.33 1.23 1.32	31	B	100							D	スギ 85	C	広		
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	163									D	スギ 90	A	アカマツ スギ 広		
	5類地	2.53 1.52	2											A	広		
	6類地	2.45	0														
	7類地	1.63	0														
	8類地		33														A
市町村計			249														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
	類地区分	含まれる示性式	面積	水田		畑				草地			林地			空地その他	
				土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫率	人工林		天然林			
						土占有率	主要作物および平均収穫率	土占有率	主要作物および平均収穫率			土占有率	主要樹種および平均収穫率				土占有率
市町村計																	
武生市	1類地																
	2類地	1.12 1.22	13									C	スギ 110				
	3類地	1.13 1.32 1.23 1.33	43	A	100							D	スギ 85	D	広		
	4類地	1.42 1.43	90									C	スギ 85	B	アカマツ 広		
	5類地	1.52 1.53	2											A	広		
	6類地																
	7類地																
	8類地		37														A
市町村計				185													
小浜市	1類地	1.11	2	A	105												
	2類地	1.12	16									B	スギ 110	C	広		
	3類地	1.13	25	B	100							C	スギ 85	C	広		
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	167									C	スギ 85	A	アカマツ 広		
	5類地	1.52 1.45	1												広		
	6類地																
	7類地	1.62 1.63	1											A	広 10		
	8類地		22														A
市町村計				234													

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考	
				水田		畑				草地			林地					空地その他
	類地区分	包含される示性式	面積	土占有利用率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有利用率	草地の種類および平均収穫量率	土占有利用率	人工林		天然林			土地利用占有率
						土占有利用率	主要作物および平均収穫量	土占有利用率	主要作物および平均収穫量				土占有利用率	主要樹種および平均収穫量	土占有利用率	主要樹種および平均収穫量		
大野市	1類地	1.11	1	A	107													
	2類地	1.12 2.22 1.22 2.12	60	C	105							D	スギ 100	B	広			
	3類地	1.13 2.32 1.23 1.32	35	B	100							D	スギ 90	C	広			
	4類地	1.42 2.42 2.43	258									D	スギ 85	A	広			
	5類地	3.42 2.52 3.43	92											A	広			
	6類地	2.45 3.45	55											A	広			
	7類地																	
	8類地			41														A
市町村計			542															
勝山市	1類地	1.11	6	A	107													
	2類地	1.12 2.22 1.22 2.12	25	D	105							D	スギ 100	B	広			
	3類地	1.13 2.32 1.23 2.33 1.31	17	B	100							C	スギ 85	C	広			
	4類地	1.43 2.42 2.43	139									D	スギ 85	A	広			
	5類地	1.53 3.42 2.52	19											A	広			
	6類地	3.45	12											A	広			
	7類地																	
	8類地			35														A
市町村計			253															

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考			
	類地区区分	包含される示性式	面積	水田		畑				草地		林地				空地その他 土地利用 占有率		
				土占有 利用率	平均収 穫量率	普通畑		樹園地		土占有 利用率	草地 の種 類 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土占有 利用率	人工林				天然林	
						土占有 利用率	主要作物 お よ び 平 均 収 穫 量 率	土占有 利用率	主要作物 お よ び 平 均 収 穫 量 率				土占有 利用率	主要樹種 お よ び 平 均 収 穫 量 率			土占有 利用率	主要樹種 お よ び 平 均 収 穫 量 率
鯖江市	1類地	1.11	1	A	105													
	2類地	1.12	5	D	102							A	スギ 110					
	3類地	1.13 1.32 2.23	26	A	100							D	スギ 85					
	4類地	1.42 1.43 2.43	26									C	スギ 85	B	広			
	5類地																	
	6類地																	
	7類地																	
	8類地		26														A	
市町村計			84															
美山町	1類地																	
	2類地	1.12 1.22	15	D	100							A	スギ 110					
	3類地	1.13 1.32 1.33	15	C	89							B	スギ 90					
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	97									C	スギ 85	B	広			
	5類地	1.52 1.53	4											A	広			
	6類地																	
	7類地																	
	8類地		7														A	
市町村計			138															

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	類地区分	包含される示性式	面積	土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林		天然林		土地利用占有率	
						土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	主要作物および平均収穫量			土占有率	主要樹種および平均収穫量	土占有率			主要樹種および平均収穫量
松岡町	1類地																
	2類地																
	3類地	1.13	4	A	100												
	4類地	1.42 1.43	9								C	スギ 90	B	広			
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		6														A
市町村計			19														
永平寺町	1類地																
	2類地	1.12	4	C	102							B	スギ 110				
	3類地	1.13	2	A	100												
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	38								D	スギ 85	A	広			
	5類地	2.52	0														
	6類地																
	7類地																
	8類地		6														A
市町村計			50														

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考		
	地区区分	包含される示性式	面積	水田			畑				草地		林地					空地その他	
				土地利用	平均収	土地利用	主要作物	土地利用	主要作物	土地利用	草地の種類	土地利用	人工林		天然林			土地利用	
													率	穫量率	率	および平均			率
上志比村	1類地																		
	2類地	1.12	2	A	100														
	3類地	1.13	0																
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	18										D	スギ 85	A	広			
	5類地	1.53	1																
	6類地																		
	7類地																		
	8類地		4																A
市町村計			25																
和泉村	1類地																		
	2類地	2.22	15										C	スギ 85					
	3類地	2.32 2.23 1.13	4	C	78								D	スギ 90	B	広			
	4類地	2.42 2.43	180										D	スギ 80	A	広			
	5類地	2.44 3.42 2.52 3.43 2.53	81												A	広			
	6類地	3.45 3.44	32												A	広			
	7類地														A	広			
	8類地		21																A
市町村計			333																

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量	土地利用率	草地の種類おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用占有率				
三 国 町	1類地																
	2類地	1.12	10		B	そさい						D	クロマツ 100				
	3類地	1.23 1.13	7	C	100												
	4類地	1.14	11		B	そさい						D	クロマツ 80	D	広		
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		17														A
市町村計			45														
芦 原 町	1類地																
	2類地	1.12	9	B	102	C	そさい										
	3類地	1.13	12	B	100							D	クロマツ 90	D	アカマツ		
	4類地	1.14	3									B	クロマツ 90	B	広		
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		13														A
市町村計			37														

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考		
	類地区区分	包含される示性式	面積	水田		畑				草地			林地			空地その他	
				土占有利用率	平均収穫量率	普通畑土占有利用率	主要作物おおよび平均収穫量率	樹園地土占有利用率	主要作物おおよび平均収穫量率	草地の種類おおよび平均収穫量率	土占有利用率	人工林		天然林土占有利用率		主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用占有率
												主要樹種おおよび平均収穫量率	主要樹種おおよび平均収穫量率				
金津町	1類地																
	2類地	1.12	9	B	102	D	そさい										
	3類地	1.13 1.23 1.33	29	C	100							C	スギ 90	B	アカマツ 広		
	4類地	1.42 1.43 2.43	28									C	スギ 80	A	アカマツ 広		
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		13														A
市町村計			79														
丸岡町	1類地																
	2類地	1.12	7	C	102							A	スギ 110				
	3類地	1.13 1.23	20	A	100												
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	58									D	スギ 80	A	アカマツ 広		
	5類地	1.52 2.52	4											A	広		
	6類地	2.45	2											A	広		
	7類地																
	8類地		17														A
市町村計			108														

市町 村名	類地区区分			土地利用の現況													備考
				水田		畑				草地		林地		空地その他			
	類地区区分	包含される示性式	面積	土地利用率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	人工林		天然林		土地利用占有率	
						土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率			土地利用率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量率		
春江町	1類地																
	2類地	1.12	3	A	103												
	3類地	1.13	13	A	100												
	4類地																
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		9														A
市町村計			25														
坂井町	1類地																
	2類地	1.12	3	A	103												
	3類地	1.13	19	A	100												
	4類地																
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		10														A
市町村計			32														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	類地区分	包含される示性式	面積	土占有利用率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有利用率	草地の種類および平均収穫量率	人工林		天然林		土地利用占有率	
						土占有利用率	主要作物および平均収穫量	土占有利用率	主要作物および平均収穫量			土占有利用率	主要樹種および平均収穫量	土占有利用率			主要樹種および平均収穫量
今立町	1類地	1.11	0														
	2類地	1.12	5	D	104							A	スギ 110				
	3類地	1.13 1.32	7	A	100							D	スギ 105				
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	26									A	スギ 85	D	広		
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		7														A
市町村計			45														
池田町	1類地																
	2類地	1.12 2.22	22									A	スギ 110	D	広		
	3類地	1.13 2.32 1.23 2.33 1.32	12	C	85							B	スギ 85	C	広		
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	147									D	スギ 85	A	広		
	5類地	1.53 3.42 3.43	6											A	広		
	6類地	2.45 3.45	4											A	広		
	7類地																
	8類地		4														A
市町村計			195														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考			
	類地区分	含まれる示性式	面積	水田		畑				草地			林地				空地その他	
				土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類	土占有率	人工林			天然林		土地利用占有率
						土占有率	主要作物おおよび平均収穫量	土占有率	主要作物おおよび平均収穫量				土占有率	主要樹種おおよび平均収穫量		土占有率	主要樹種おおよび平均収穫量	
河野村	1類地																	
	2類地	1.12	6									C	スギ 110	B	広			
	3類地																	
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	32									D	スギ 85	A	広			
	5類地	1.52 1.53	3											A	広			
	6類地																	
	7類地	1.62	3											A	広			
	8類地		6															A
市町村計			50															
朝日町	1類地																	
	2類地	1.12 1.22	6									B	スギ 105	C	広			
	3類地	1.13 1.32 1.23 1.33	14	C	100							C	スギ 85	B	アカマツ 広			
	4類地	1.42 1.43	17									C	スギ 80	A	広			
	5類地	1.52 1.53	1											A	広			
	6類地																	
	7類地																	
	8類地		7															A
市町村計			45															

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考	
				水田		畑				草地		林地				空地その他
	面積	土地利用率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	人工林		天然林			土地利用占有率
				土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	主要作物および平均収穫量				土地利用率	主要樹種および平均収穫量	土地利用率	主要樹種および平均収穫量		
宮崎村	1類地															
	2類地	1.12 1.22	3							A	スギ 105					
	3類地	1.13 1.23 1.33	7	B	100					D	スギ 80	C	広			
	4類地	1.42 1.43 2.43	18									A	アカマツ 広			
	5類地															
	6類地															
	7類地															
	8類地		6													A
市町村計			34													
越前町	1類地															
	2類地	1.12	2							D	スギ 110	A	広			
	3類地	1.32 1.33	1							C	スギ 85	B	広			
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	23							C	スギ 85	A	広			
	5類地	1.52	2									A	広			
	6類地															
	7類地	1.62	1									A	広			
	8類地		8													A
市町村計			37													

市町村名	類地区分			土地利用の現況												備考	
	地区区分	包含される示性式	面積	水田		畑				草地		林地					空地その他 土地利用 占有率
				土地利用率	平均収穫量率	普通畑 土地利用率	主要作物 おおよび 均収穫量 率	樹園地 土地利用率	主要作物 おおよび 均収穫量 率	土地利用率	草地の種類 おおよび 平均収穫 量率	土地利用率	人工林 主要樹種 おおよび 平均収穫 量率	土地利用率	天然林 主要樹種 おおよび 平均収穫 量率		
越村	1類地																
	2類地	1.12	1									D	スギ 110	A	広		
	3類地																
	4類地	1.42 2.42	10									D	スギ 95	A	広		
	5類地	1.52	2											A	広		
	6類地																
	7類地																
	8類地		2														A
市町村計			15														
織田町	1類地																
	2類地	1.12 1.22	4									D	スギ 105	A	広		
	3類地	1.13 1.32 1.23 2.33 1.33	16	C	100							D	スギ 80	B	広		
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	13									D	スギ 80	A	広		
	5類地	1.52 1.53	1											A	広		
	6類地																
	7類地																
	8類地		5														A
市町村計			39														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑			草地		林地		空地				
	類地区分	包含される示性式	面積	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量	土地利用率	草地の種類おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量	土地利用率		主要樹種おおよび平均収穫量	土地利用占有率
清水町	1類地																
	2類地	1.12 1.22	1									A	スギ 105	D	広		
	3類地	1.13 1.23 1.33	18	B	100									B	広		
	4類地	1.42 1.43	15									D	スギ 85	A	アカマツ 広		
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		8														A
市町村計			42														
三方町	1類地	1.11	0														
	2類地	1.12 1.22	2									D	スギ 105	A	広		
	3類地	1.13	14	B	91									B	広 アカマツ		
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	59									D	スギ 80	A	アカマツ 広		
	5類地	1.52 1.53	3				A	うめ									
	6類地																
	7類地	1.63	1											A	広		
	8類地		18														A
市町村計			47														

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	包含される示性式	面積	土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫量率	土占有率	人工林		天然林		土地利用占有率	
					土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	主要作物および平均収穫量				土占有率	スギ	その他			土占有率
美浜町	1類地																
	2類地	1.12	8	D	98						D	スギ 110	B	広			
	3類地	1.13 2.32 1.23 1.32	17	B	91								B	アカマツ 広			
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	112								D	スギ 80	B	アカマツ 広			
	5類地																
	6類地	2.45	1											A	広		
	7類地																
	8類地		15														A
市町村計			153														
上中町	1類地	1.11	1	A	100												
	2類地	1.12 1.22	5								B	スギ 110	D	広			
	3類地	1.13 1.23	17	A	95								D	アカマツ 広			
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	52								D	スギ 80	A	アカマツ 広			
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地		7														A
市町村計			82														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考			
				水田		畑				草地		林地				空地その他		
	類地区分	包含される示性式	面積	土地利用率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収穫率	土地利用率	人工林			天然林		土地利用占有率
						土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	主要作物および平均収穫量				土地利用率	主要樹種および平均収穫量		土地利用率	主要樹種および平均収穫量	
名田庄村	1類地																	
	2類地	1.12	14	D	95							D	スギ 110	A	広			
	3類地																	
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	125									C	スギ 85	B	アカマツ 広			
	5類地	1.52	1											A	広			
	6類地																	
	7類地																	
	8類地		3															A
市町村計			143															
高浜町	1類地	1.11	3	A	100													
	2類地	1.12 1.22	7			D	そさい					D	スギ 110	C	広			
	3類地	1.13 1.33 1.23 1.32	15	D	91							D	スギ 85	B	広			
	4類地	1.42 2.43 1.43 2.42	39									D	スギ 80	A	アカマツ 広			
	5類地	2.44	0															
	6類地																	
	7類地	1.63 1.64	1											A	広			
	8類地		6															A
市町村計			71															

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考				
				水田		畑				草地			林地			空地 その他			
	土地 利用率	平均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 作 物 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	草 地 の 種 類 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率	主 要 樹 種 お よ び 平 均 収 穫 率	土 地 利 用 率						
大 飯 町	1類地	1.11	3	A	100														
	2類地	1.12	0																
	3類地	1.13	4	A	91											D	広		
	4類地	1.14 1.43 1.41 2.43 1.42 1.44	53											D	スギ 70	A	アカマツ 広		
	5類地	1.51 2.44	1													A	広		
	6類地		0																
	7類地	1.63 1.64	1													A	広		
	8類地		6																A
市町村計			68																
市町村計	1類地																		
	2類地																		
	3類地																		
	4類地																		
	5類地																		
	6類地																		
	7類地																		
	8類地																		
市町村計																			

1974年3月 印刷発行

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

福 井 県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 研友社印刷株式会社

埼玉県和光市白子 3 - 35 - 9

電話 (0484) 63-1411

